No. 550 SEMANARIO DE S. PAULO 7-NOVEMBRO-1930

聖州新報

Semanario de S,Paulo
Rua Piatan, 4-35, 4-72
Caixa Postal, 58 BAURU
Director e Redactor
ROCRO KOWYAMA

ASSIGNATURA

Anno	28$000
Semestre	16$000
Trimestre	8$500
Mez	3$000
Semana	$800

賛助料
一年前金二〇〇〇
全後金三〇〇〇

廣告料
一段 全一回 一〇〇〇
二段 全二回 二〇〇〇
半段 全三回 三〇〇〇
四分一段 全四回 五〇〇〇

社主兼編輯人 香山六郎

社説

伯國支配者型と其政治傾向

伯國革命も成就した　頓繁であつた。今年度南米諸大國の政治革命も、當分是れでおしまいであらう。

然し社會は生きものだ。それで不斷に流動する。

今後南米革命諸國が、何う又變遷するか、それは別問題として、吾人は玆に伯國支配者型を檢別して見よう。

前大統領ワ氏は、伯國共和黨を率いて、伯國に君臨したが、其の君臨の社會型は、產業型であつた。

最近退位の晩年、彼は產業型の一般が陷る當然の歸結たる資本主義型に墮し來つて居た事は彼の背景が、常に北米資本で彩光れて居たと云はるゝ処からも亦ソ氏が、軍事型でなかつた事は、彼の股肱と頼む軍人連に叛逆された點からも承認されよう

然るに、今度の革命成就の大統領たる可きジエツリオ氏。彼は伯國民衆自由聯盟黨を率ゐて伯國に君臨する。

其君臨の社會型たるや、未だ其抱負たる政綱を發表してゐないで、其の彩光を濃に云々し難きも、今日迄の經路からして、彼が革命戰線に劍を案じて居り彼が反革命軍人等をも味方に吸集し得た氣慨からしても。或は彼は軍事型にはまる人ではなからうか。

既に革命成就の今日でも反革命州であつた処のリオ。サンパウロの要所々々に自己の配下軍隊の勇敢振と偉容を示す可く、形式的にもしろ占領さする処、純文人政治家のなさぬ藝當である。

彼ジエツリオ氏、吾人の眼底に直覺する處によれば、伊太利のムソリーニ式の別派を行く処の、伯國フツシスタ……即ち國粹（ガウシオ式）主義政治の大建物であつて、前統領と違ひ北米資本讃歌者でない。

或は自國經濟自給主義者か、それとも、北米金融の背景を止めて、歐州金融市場へ、資本的背景を鞍換ゆするでなからうか。

そうした場合、聖州珈琲輸出の趨勢も亦、現狀と餘程違つた方向に轉換する事となるであらうが、革命政府當路の財濟的腰骨が何の程度迄强硬で押進むか、吾々には尠なからず興味をそゝつてゐる問題である。

黄金の流れは、全世界の至る処から、北米さして流れ込んで行くのが現狀である。

然し是れと反對に、北米資本主義讃歌思想の流れは、各國に向つて流れ込む事が停止狀態を演じつゝある。

停止狀態と云ふより、各國とも寧ろアンチカピタリズムに傾きつゝあるのではなからうか。

金によつての誘惑で各國民の道德心を一面歇斯底厥に化しつゝあるのを、憤慨する思想……

……それが南米の最近の革命的指導者に心强く現れて居る事を見逃してはならぬ。

吾人は漸て、發表する、ジエツリオ大統領の政綱に、そうした、ブラジル國粹の馥郁たるものを、今の革命の徵象其紅のレンソに豫感させられる。

社會は流動する。生きてゐるんだ。

故に支配者階級が、如何に現狀維持を熱望し、執着し狂奔し人民を脅迫し、言論機關を威脅しても、生きて居る社會は動く江河の水の流れの如く、音なく不斷に動き行く。

二十世紀の四分の一初期迄は社會組織が、軍事型を破つて、產業型へ、產業型へと進展した

然るに、最近の南米諸國の革命騷擾の跡を見るに、社會組織は、產業型より軍事型の形式をとつて、國粹型、或は民族型へと推移しつゝある。

歐洲に於いても、獨乙亦國粹型になつた事は、尠なからず歐州各國の軍縮均勢を脅かしたと

支配者階級が、如何に現狀維持を熱望し、執着し狂奔し人民を脅迫し、言論機關を威脅しても、生きて居る社會は動く江河の水の流れの如く、音なく不斷に動き行く。

二十世紀の四分の一初期迄は社會組織が、軍事型を破つて、產業型へ、產業型へと進展した

然るに、最近の南米諸國の革命騷擾の跡を見るに、社會組織は、產業型より軍事型の形式をとつて、國粹型、或は民族型へと推移しつゝある。

歐洲に於いても、獨乙亦國粹型になつた事は、尠なからず歐州各國の軍縮均勢を脅かしたと

支拂猶豫令の實施と變更

（尙ほ拾五日間延期する）

革命軍事委員假政府は去る十月二十七日全伯より國に向ふ三十日間諸支拂猶豫令を發布同日實施したが次いで十一月一日附統令第一九、三九一號をもて同令を、尙ほ向拾五日間延期すると變更した

因に各銀行も來る十一月八日より平常通り開業する事にした旨も發表した

即ち十月二十七日より向ふ三十日間を以て、商業上如何なる取引義務も、商取引所に於ての契約の履行も擔保、利子附貸金の請求も、年月賦支拂の要求なども尙ほ拾五日間支拂の猶豫をなし得ると云ふのである

（三十日間が四拾五日間に延期された譯だ）

米伊兩國海軍縮委員の會見

海軍縮比率問題の不公平緩和策か

去る一日伊太利外相グランチ氏は北米海軍縮豫備委員ジブソンと會見した

會議の內容は一切秘密にされて居るが、推測する處によれば佛伊兩國の海軍縮比率問題の不公平を緩和する爲めフーバ大統領の好意的協調策と睨らまれて居る

日本は支那と結べ

五つの國家聯盟に

全世界を組織せよ

◇邦人を母とすと◇

ブリアン氏の歐州聯盟案に對する議論沸騰につれて、日本と支那の兩國の聯盟といふ問題が今や國際政治界では興味ある問題となつて來た折柄、日支兩國の東亞聯盟を提唱してゐるクーデンホーフエ・カレルギ伯とゼネヴア湖畔の別莊で面談した。

伯は汎歐州運動の先驅者でこの運動の中心人物として有名である。

伯は卅六年前青山みつといふ日本人を母として東京で生れた人で、意氣昂然として談じたところは次の如くである。

自分は常にブリアン氏と共同してゐる、その歐州聯盟計畫は徐徐にであらうが必ず成功するものと考へてゐる、現在の歐州は現狀打破を欲する諸國家と現狀維持を欲する諸國家と對立狀態である、このまゝで進めば第二の歐州大戰は避けられない、これを防止するにはどうしても歐州聯盟を完成せねばならぬ、この計畫は今度の聯盟總會でともづなを解いたのだ、目的の港につくまでこの船は走り續けるに違ひない

× ×

東洋ではあらゆる意味で日本と支那との聯盟を作るのが必要であり合理的だ、自分がかくの如く諸國家の地方的聯盟を主張する理由はこの組織が世界の平和確保に最も有効だと、信じるからだ、しかして自分は世界を五つの國家聯盟に組織するのが最も合理的だと信じる、即第一歐州聯盟、第二南北兩米國聯盟、第三日支聯盟、第四ロシア聯メイ、第五英國聯メイの五つである

この五聯メイを國際聯メイに糾合し國際聯メイは五つの地方的聯メイを統一する世界聯メイの組織にする

× ×

各地方聯メイはその聯メイ內で經濟協定をとげ國際聯メイといふ世界れんめいによつて各地方聯メイ間の經濟協定を成立させる、かくしてこそ世界平和の確固たる基礎ははじめてきづかれる、國際聯メイが地方々々の聯合體になるなら米國も必ずこれに參加する

に違ひない、米國が國際聯メイに參加せぬのは歐洲に統一がなく、歐洲の國際紛爭に卷き込まれるのが嫌だからではないか、國家主義的の保護關稅政策も自由貿易論も共に時代遲れである、全世界が地方的に聯合してその聯メイ間に市場協定を成立させてこそはじめて世界平和が建設され社會革メイの危險も除去される

× ×

日支兩國の聯メイは現在の日支關係に於て甚だ困難であるに相違ないが、二つの國家の聯盟だから歐州聯メイの計畫に比らべるとずつと容易である筈だ、先づ支那が統一せねば日支聯メイも不可能だといふものもあるけれども、日支間にレンメイが出來れば支那の統一が促進されるとも考へられるではないか

革命派のエピタシオ。アルツールの二元老を亞國北米兩大使に

革命は成功した、然し周圍の關係各國に對しては新政府として苦衷を要するものがある、伯國と最も緊密の關係國たる駐亞國大使としてエピタシオ・ペソア氏を出かけて貰らい

駐北米伯國大使としてアルツール・ベルナルデス氏の手腕に依賴する事になるだらふと噂されて居る

新政府の顏振

確定的なものではないが、革命新政府としてジエツリオ・バルガス大統領が組織する內閣員の顏振は左の如きものであらう

外務　ドツトル、アフランオ・デ・メロ、フランコ
內務兼司法　ドツトル、オツワルド、アランヤ
大藏　ドツトル、ジユゼ　マリヤ、ウバケル
農務　ドツトル、ジユ、エフ、アレス、アヴルル
ティ信　ドツトル、ダバレス　カバルカンチ
陸軍　ジエ、エフ、レイテ、デ　カスドロ大將
海軍　イヴイアス、デ、ノロニヤ提督

ミナス州丈けの支拂猶豫令

ミナス州政府は革命時局により實施したる州內支拂猶豫令が去る四日に期限となつたので去る三日尙ほ拾六日迄支拂猶豫延期令を出した

革命軍の總兵數量

南三州を筆頭に二十七万餘

リオ首府にて計上さるゝ処によれば、南三州の總革メイ兵數は拾二万五千人、ミナス州總革メイ兵數は拾万人、北部諸州を合せて四万五千人と、故に革メイ軍總兵數は合計二十七万餘であつた

ミゲル、コスタ將軍聖州軍事新編制委員長に

ミゲル・コスタ將軍は去る三日聖市に於て聖州軍事新編制委員長に奉られた

東京市で新聞社燒失

損害百万圓以上

去る四日北米人經營の「ジヤパン・アドバーチザ」社失火燒失した、損害高百万圓以上を計上されて居る

獨乙新巡洋艦建造

獨乙は三年繼續事業にて明年より國防新巡洋艦を四隻建造する事になつた

都だより（革命の卷）

丘の人

▲われ〳〵の殆ど想像さへ出來かねる樣な突發事變で、さしも全世界の視聽を聳した革命戰も急轉直下の勢で大体終局期に近づいた外觀をとつた。

▲二十三日（？）辭職勸告に行つたタソ・フラゴーソ將軍を捕へて之を投獄せんとした大統領ワシントン・ルイス氏は、更にジユンタ、ミリタールの武力强要にも敢て屈しなかつたが、二十四日、セバスチオン・レメ司敎の懇なる勸告に遂に我を折つて大統領の印授を革命軍に渡した。

▲其の强大なる意志の表示は、その最後に於て「予が持つ尤も貴重なるものは生命である、しかし予は降伏しては居ないぞ」と嚴然として言ひ放つたところにある。特に最後の言葉は、ワシントン・ルイス氏を尤も鮮明に堂々と表した言葉であつた。

▲日暮れ頃、レメヨ司敎、レゴ僧正並にタソ・フラゴーソ將軍に伴はれ、御用自働車でコパカバナ砲台（リオ港外南岸にあり）に捕虜として收容せられた。氏は潔く護身のピストルを砲台司令官に渡し、夜更くるまでペンを取つた相である。

▲かつて、その淸廉に、その聰明に、全國民の崇敬の的となりかつてその鉄血を以て、群少の政治家を威壓した近代稀に見る名元主ワシントン・ルイス氏も如何なる運命のめぐり合せぞ。たつた一夜の嵐に敢なくもその元主としての最後運命を散らして終つた。しかし散る可き時に散つた櫻の花だ。何の恨びところぞ。何の恥づるところぞ。榮枯は常だ。盛衰は古今東西變るところはない。しかも最後までの印授を汚さず、威嚴を失はず一國の元主として、及ぶ限りの力を盡した氏に、誰が非難の聲をはなち得るものぞ。思ふに氏の堂々たる最後は、ブラジル憲政史をかざる花として、燦として永久に史上に殘る事であらう

（二十五日）

（附記）

「都だより」を書く私として、今少し詳しくリオの革命を書かねばならぬのであるが、ややともすれば、つまらぬコンメンタリオや、いらぬクリチカに走りたい私の筆を。これ丈にして止めるのを皆樣は許して下さるであらう。

大阪商船會社

◉日本へ一番早く着く
優秀な新造客船
◉北米經由サントス日本間六十日に短縮
（命令定期毎月一回）

◉日本へ　ラプラタ丸　十一月四日サントス發
◉日本より　ブエノス丸　十一月十二日サントス着
十一月六日リオ發

代理店
Santos: Houlder Brothers & Co. Ltd
Rua do Commercio, 35
S. Paulo: Theobor Wille & Co.
Rua Libero Badaró, 52 S. Paulo

◇御歸朝客には神戸から御郷里の內地各港迄弊社船無賃乘繼の特典を設けました、但し沖縄行は各等五割引。
◇日本より家族御呼寄船賃支拂便法は左記へ御照會願ひます。

サントス駐在員　酒寄守
Caixa Postal. 388 Santos

Casa Parana
CAIXA, 103
DUARTINA
內外商品　小間物　農產物仲買
カーザパラナ
安元商店
パスレル棉花會社
理人代　安元青太
パ延長線ドアルチーナ驛郵函　一〇三番

Hotel e Bar
SHIMOTU
Est, Marilia
ホテルバール
當地方へ御出掛の方は御立寄下さい
下津一郎
マリリヤ驛

Casa kagueyama
▲自動車運搬業
▲內外雜貨
▲農產物仲買
影山商店
影山博史
パウリスタ延長線ベラクルス驛前

內外小間物
農產物仲買
吉田兄弟商店
ノロエスチ線ビリグキ驛
郵函　二七二番

○內外商品○小間物
○金物○農產物買入
CASA
Ichinose
Araçatuba
一ノ瀨商店
ノロエスチ線アラサツーバ驛
一ノ瀨勘助

Hotel
Estação
Y Murakami
Marilia C. P.
人氣の中心　アルトタフエザール
驛前にして清潔な
ホテルエスタソーン
館主　村上義雄
パウリスタ延長線　マリヤ驛

Hotel
Mundo
親切清潔簡易
藏力茂子
ソロカバナ線ランシヤリ驛移住組合倉庫隣り
移住地行ニ至極便利

Hotel
FUJI
Araçatuba
ホテル兼運搬業
御旅館　不二
アラサツーバ市驛筋　郵函　二〇八番

Hotel e Bar
Alto-Cafezal-
ホテル　東洋
バール
パウリスタ線マリヤ、ア驛サンルイス街　郵函　二七
諸設備あり乞御立寄を
館主　梅田金五郎

御旅館　朝日亭
和洋御料理
並に果物商
……女給さん入用……
ベンタ驛カフエランヂヤ町（日本藥店隣）

HOTEL
日本郵船會社特約乘船切符取次所
御歸國御乘船の方は出帆二日前にお出で下さい
Baurú
澤尾
パウルー驛前

日本旅館
Hotel Japão
Mario. H. Arita
Rua Antonio Prado, 52
Phone 81
Est. Araraquara
館主　相田寛雄
アラ、クアラ驛前
郵函　二五
電話　八一

○品質本位
○薄利多賣主義
◉美味しくて割のきくお醬油は
黒島印醬油
クロシマ醬油釀造元　黒島伊平治
北西線プロミツソン驛セルチツベ街

日本近信

卒業生よ!!何處へ行く……
早くも猛烈な就職戰線展開
燈火をよそに狂奔する學生の群

長い暑休を終へ學生勢揃ひしたと思ふ間もなく俄然就職戰線が活氣づいて來た

深刻な不景氣、就職難、失業に刺激されて學生はもとより學校人事課でも早くも依賴狀發送入亂れて求人市場開拓に寧日なき狂奔振で、最近各大學共に出席率が低下したとさへいはれてゐる、だが果して開拓出來る市場の余裕があるかどうか

本年度卒業生の大多數は高等遊民、失業群となつて明確な社會層を築いてゐる矢先、來年度は缺員不補充を聲明せる現緊縮內閣のために役所方面はだめ實業界は打續く不景氣で面白からず、教員も過剩で八方ふさがりのところへ夥しい約四万の學生群が社會へ吐き出されるのだから未曾有の就職難時代を現出し生活のための血みどろの鬪爭が必然的に展開される譯だ

燈火親しむべき秋、就職魔の灰色の手にその若く赤い心臟を掴まれ蝕まれて學生は讀書をよそに「雇はれたし」とうまたに蒼白い吐息をついてゐる悲慘な學生よ、どこへ行く?

南北カルフオルニヤ地方一帶に
メツキリ殖へた密告者
數日間に拾名移民局送り
密入國者には送還と體刑

（カルフオルニヤ）密國!!移民官の活動!!邦人無旅券者檢擧

南加地方の流行が漸次、北加方面に移り最近頻々として檢擧が行はれ數日間に十名近くの邦人、移民局送りとなり、なほ移民官の活動繼續されつゝあり、なんとなく人心動搖を來してゐると尙一九二四年以來密入國した者は手當り次第送還する、一度送還された者が再度密入國を企てた時は二ケ年州監獄に投ぜられ後送還される

日米主戰論の息の根を斷つ
外交上に現はれたロンドン條約のご利益

ロンドン條約成立の結果による外交上的收穫は事實上四月廿二日の調印と同時に外交上に顯著なる効果をあげつゝあるが特に我國の對英米と對支外交上に及ぼした喜ぶべき影響は見逃し難い

對英關係

オーストラリヤ及びニユージランドが同盟廢棄の反動を恐れて日本の太平洋政策に多大の懸念と脅威と感じつゝあつたが、日本が相當の犧牲を拂つてロンドン條約成立に努力した結果今や右自治領はいふまでもなく、日英同盟廢棄に離起となつたカナダさへ日本の太平洋政策に好意を拂ふに至つた

從つて英國自治領の外交權の獨立性と相待つて將來對オーストリヤおよびカナダ經濟外交の好轉機を期待されてゐる

對米關係

同條約のもたらした偉大なる効果は日米主戰論の息の根を止めたこと、特に條約協定兵量では到底太平洋で日本と戰ふことを不可能なりとの印象を米國海軍に與へたことで、ロンドン條約によつて米國は日本の東洋における堅實なる優越的地位を確認した事は否定出來ぬ、日本外交の癌たる移民問題もその時機さへ來れば日本の體面が復活されるやうに解決しよう

對支列强關係

關稅會議以來亂調を極めた日英、米、三國の對支共同政策は還元されよう、即ち當面の治外法權に關する交渉の如き英國はその對支提案につき日本に事前に諒解を求めて居り米國政府も事前に米國案を日本政府に內示するものゝ如く何れにしても在支既得返還の重要外交期に當つて三國の協調外交が復活の轉期に惠まれた事はロンドン條約成立の間接的効果である

國際聞休內で最大の進歩を有する日、英米三國がロンドン條約によつて新しい握手を交した事は外交上何といつても特筆すべき價値がある、次回三十五ヤの軍縮會議成立をも容易ならしむるであろうと期待されてゐる

南船北馬

●チリ革命陰謀暴露

近來めい運動流行してゐるが、チリー國でも五名の反政府員が政府顚覆を策して未遂にをはる

●民主共和兩黨禁酒撤廢

ニューヨーク州共和黨は始めて禁酒法に對する態度を表明し同法撤廢の議を一決した、これでニューヨーク州においては民主共和黨とも全ぜん禁酒法反對となつたわけ、可決議案は禁酒法はこれを廢止し禁酒は各州個別の統制に一任する事、だしバーやレストラントで飲ませるのはよくないが「自宅で一パイはよい」といふにある

●郵便切手に廣告

米國郵便局では年々收支償はず苦しんでゐたが最近との救濟案として第一種郵便物使用のもつ手に廣告を取るといふ案を立てゐる

●空…海…陸スピード界賑ひ

鳥人ホーク大尉(米人)はデトロイトからロードアイランド州まで六百四十哩を二時間と四十一分一時間平均二百四十五哩の新記錄で大かつさい

大平洋航路についてゐる優秀船「エンプレス、オブ、ジヤパン」號は二次航海において過般の大平洋橫斷記錄を破り今度は六日九時間四十分で航行し新記錄を作つて得意

モスコー…クールスク鐵道のモスコー驛附近において急行列車と晉通旅客列車と物凄い大衝突、三百余名さん死をとげたとの衝突はヨーロツパにおける前代未聞の列車惨事であると

●私通が成立つか

始ぎが結こんしたら私通が成立つかと云ふ樣主泣かせの事件が最近メッキリ殖え警察署では解けつに惱んでゐる、內務省令取締施行細則によれば有夫の女は離と手續をなしたものゝほか娼ぎたることは許されてゐないが娼ぎが樣主に無で男と結こんすることに對しては拘束力なくこの點一般樣主側に取つて不利で省令改正の聲をあげてゐる

外國電報

高松の宮兩殿下
スペイン首府に

去る五日西班牙國首府マドリツド博物館に成らせられた日本高貴の御二人があつた

高松の宮と喜久子妃殿下であつた

北米の選擧戰

先週來北米合衆國は各州の上下議會の選擧戰に入つて居るが今日迄の処、紐育は前市長のフランシスコ、ルーズベルト氏の決定的再選を見て居る

州上院議員三十五の椅子中三十三椅子迄はデモクラット黨員に占有された、今の処各州ともデモクラット黨大優勢の由

秋山好位將軍逝去

日戰露役當時秋山騎兵別動隊として聽名を馳せた秋山好位將軍は七十五歳にてまる五日逝去された

獅子身中のいん謀團
共產的民衆政治を倒壞せんとする
食糧破壞國民反感增長計畫

（モスコー）露國政府の祕密探偵團は露國內政の甚だしき陰謀の烽火を上げた、即ち國家貯藏しつゝある食料品を破壞し國民をあげて飢餓に瀕せしめつゝある行爲は民衆政治の根底を危くし貴族的民主主義に導かんとするものがあると、政府の要路四十八人を指摘した、この一味の者は多く舊露國官憲の有力者でかゝる手段を以つて國民の反感を惹起し露國を資本主義化せんとする運動ならんと

ソビエツト共和國
首領に
四拾壹歳の若手
ソウリモフ氏が

千八百九十年ウラルに生れた彼は革命前、モスコーを追はれシベリヤに流刑された

革命後のソウリモフ氏はソビエツト共和國の要路委員に擧げられ功勞顯著、今度は政治代表委員の筆頭になりソビエツト共和國首領になつた、齡僅かに四十一歳

汎亞米利加
聯盟長と副長

就任期一ケ年限にて來年度汎亞米利加聯盟長は北米のスチムソン氏で、副長はメキシコ國のテーレス氏の後を伯國の駐北米大使ドツトル、グルグル、ドマラル氏が就任した

秘露及葡萄牙は伯國新政府を

承認

伯國政治カクメイにより、ジエツリオ、バルガス氏統領に就任關係各國政府に承認を求めつゝあるが逸早く新政府を承認して來たのは秘露カクメイ政府とイタリ、チリー、ボレビヤ、ウルグワキ、ポルトガル等の政府である

ゴンデ、ゼフキリン號總司令
エツケネル博士を

世界聯盟飛行總裁にはコンデゼフキリン號總司令のエツケネル博士を擧げた、北極探檢の自然科學者ナンセン博士の後の繼いだものである

伯國大審院は前ワ領に

保釋を許す

未だ罪狀判決もなきワシントン、ルイス前伯國大統領をコツパカバナ砲台裡に監きんせるに對し伯國大審院は保釋を許す意思である

聖州閣僚會議

假聖州統領であつたジョンアル、ベルト大佐は去る五日假內閣々僚を政廳に召集し協議の結果假聖州統領の席を現司法長官のブリニオ、バレット氏に引渡した

大藏長官ジユゼ、マリヤ、ホツタケル氏が中央大藏大臣に就任したので其後任には現聖州商業銀行頭取のドツトル、エラスモアスンソン氏を任めいする事にした

伯國宇ら盆

さる二日はブラジル宇蘭盆であつた、亡き人々の墓を掃除し草花か造花を墓碑や十字架になげかけ墓前に蠟燭をともす。至極簡單な靈祭である

祖國のそれの如く墓碑に水や線香も捧げぬ処が大陸的でいゝのか知ら、日本人には物足らぬお盆だ

反響

▲北米の政治戰もデモクラツト戰線非常な優勢そうな、伯國ウルブーもタツーもデモクラットの鳴聲してるそうな。

▲革命騷擾もおしまいである、血を流さぬ革命は眞劍味がなく薄べらで翌日からお祭騷ぎが革命騷ぎより盛んである、なんか云つちや叱られるか知ら。

▲ジユアレス、ターボラ北伯革命將軍が遞信大臣の椅子におチヤンコした、副大統領になるかと想つたに。

▲印度革命——拾年二拾年三拾年でも成就せないでもやる処流石大きい英印と呼ぶ、大闘と大闘との力强い相撲だ。

▲ジエツリオ革命新大統領の政綱確かに腐れ玉蔥の皮一枚剝いた新鮮味がある。本紙社說豫想通り、國粹主義である。

▲聖市邦人界にも革新の氣漲つて居るそうな。腐れ玉蔥の皮を一枚剝くがいゝ。

▲渡伯日本移殖民の減少……牡丹も萩きての冬枯れ時だよ……

▲移住組合の田付御大も隱退し梅谷氏もアツサリさよならをした……と……まだ電報は、はいらぬ。

▲ノロエスタ線の豪雄ジオアキン、バルボーザ氏が檢束されたバルボーザ脫出地線に異狀あり

訂正廣告

昭和五年九月十二日發行聖州新報五百四十一號に掲載のマリリヤ青年會寄附者芳名廣告中左の通り訂正致し候

平島喜一殿　二〇、〇〇〇
石黑武雄殿　二〇、〇〇〇

マリリヤ青年會

經濟欄

バウルー市物價（十一月五日）

タマゴ	一打	一、五〇〇
フランゴ	一羽	三、〇〇〇
ガリンニヤ	一羽	三、五〇〇
牛肉	キロ	一、二〇〇
砂糖	キロ	九〇〇
バタチニヤ	キロ	六〇〇
トシンニヤ	キロ	二、五〇〇
精米	一俵	四五、〇〇〇
フエジヨン	一俵	二二、〇〇〇
ミーリヨ（一〇立）		一、五〇〇
コーヒコーヒー	一俵	十二〇〇〇

Missão Japoneza do Brasil
R. Oslvão Bueno, 85-87
CAIXA, 2-Z SÃO PAULO
財團法人聖州義塾
帝國令夜學校　日本語學校　衞語通信教授
主任　小林美登利
聖市ガルボンブエノ街
電話七—五二八七
サンパウロ教會
日曜學校　午前八時半
大人集會　午后七時

HOTEL Yamamoto
旅館
義政本山
ンロバ驛キグリビド
街コンラブオ郵
番四九三……函

Hotel shirota
Pennapolis Caixa 261
●穀物買仲物●
旅館
雜貨小物間
店商田代
ボナンペ線クスエロ
ラリ驛アルノエロ
三一喜田代

HOTEL USHIHO 潮ホテル
大阪商船會社指定乘船切符取扱
前田吉太郎
ウンゼルベスターナ街
郵函　三二八
電話　一九二四

削節發賣元
三共商會
レオカラ魚干
郵函　一九二四

解說者一名募集履歷書送れ

大情
衆的操
娯楽育
への教
尖端を進精
るす
吾社巡回映寫部を御利用下さい
松竹日活東亞ウフア
の新映畫續々到着
日伯シネマ社

製麵
安價にして美味のマカロンを
北西線リンス市
東洋製麵所
共營　賀數輝俊
我覇那宗輔

内外食料品、雜貨商
藤澤醬油特約販賣店
岡田太郎商店
バウルスタ延長線
マリリヤ驛サンルイス街
三八

すしそば　うどん　御料理
あをやぎ
コンデ坂上三十三
電話二……一九四八

1931
新年の準備は先日から記!
記入欄は寫眞應用美術印刷にて鮮明此上なしなり

當用日記　大　一二、〇〇〇
仝　仝　中　九、〇〇〇
仝　小　七、五〇〇
懷中日記　上　四、〇〇〇
並　三、五〇〇
「各冊送料共」
昭和六年度
博文館日記
瀨木商店
Segui & Cz
Caixa Postal, 1771—São Paulo

CASA HONDA
GUAYÇARA
日本品雜貨
本田商店
本田　授
グワキサラ驛
郵函　四七

商工展覽會
金メタル受領
Marcenaria JAPONEZA
MASSAGI KOGA
BAURU'
家具製造販賣
バウル市ワシントンルイス街六ノ三(シネマ前)
古賀政治
▲電話　三四〇

富士山醬油釀造所
藤澤豐次郎
印
是非御家庭にお試し下さい
醬油
北西線カフエランデア驛

美味しくて安價なる
德用麵類は……
日本製麵所
城間經營
リンス　郵函二〇三番

Casa Sato
ARMAZEM E HOTEL
Pennapolis
▼穀物仲買▼內外小間物
聖州新報　其他一般郵便物取扱所
並に日本旅館
佐藤商店
佐藤常喜
ペンナポリス驛
ワツシントンルイス街
郵函　一〇一番

大阪商船會社指定切符取扱所
聖市旅館同業組合
東京館　マツア街　二九一　仲村巢三郎
大和　コンセレイロ フルタード街二　坊迫健造
上地　ポニタ街一一　郵函一二二五　上地彌藏　電話二——一九二一
ときわ　コンデ デ サルゼダス街四一　石原桂造　電話二——二六九〇
旭　コンデ デ ビニヤール街二一　秋田桑三郎　電話二——一七八二
末廣　コンデ デ ビニヤール街一番C二階　中山忠太郎　電話二——五六三八
小川　コンセレイロ フルタード街一六　小川源右衛門　電話二——四四七

THE YOKOHAMA SPECIE BANK LTD.
RUA DA CANDELARIA, 23
CAIXA, 380
RIO DE JANEIRO
横濱正金銀行
リオ、デ、ジヤネイロ支店

この横文字を手紙の表にはられたし

郷里送金

一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候。
二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ御送り申上候。
三、金子はコンバロル郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ橫濱正金銀行勘定として Banco Commercialdo Estado de S. Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de S. Paulo へ御拂込被下ても差支無之候。
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候。

預金
邦貨定期預金利息六ケ月以上年四分五厘
伯貨定期預金一壹ケ年以上年四分五厘
伯貨當座預金（小口）年五分
年四分

▲預送金用紙は御請求次第直ちに御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合ヤ被下度候
▲預金通帳は書留郵便にて御返送可申上候。
御申込の際は最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に御座候

ビーバ!! 革命!! 其日のバウルー

如露錢

廿五日朝六時四十分

ピヴ――――――――――と何時もバウルにロテリヤの大符が落ちた時に吹く、警笛が朝から、頻りに吹く。

その中何時も朝の仕事始めにふく、バウル――ノロエステ鐵道工廠の警笛が、ボウ〜〜ボウ〜〜ボウ……と吹き出した汽車の警笛が三四台一時にヴワ――ンとふき出す。

笛のジャズバンドだ。

それが何時もより長い。

「變だぞ。」

「變んですね……」

その中宅の男の子が、戸外に呼び出して居たのが、表から馳けこんで來て、

「パヽイ、レボルトーゾ、ガンニョオ――」と、大きな聲で叫ぶ。

私共は、その時、始めて革命成就を知つた。

そうして、私の頭には、今の長がい〜〜警笛が何んであり、革命成就には政府内に、叛逆者があらはれたのだなと、直覺した。

髭もそこ〜〜に剃つて、領事館へ行つて見る。

ボーイ格の○○君と濱口領事さんとが居る。

記「ゃあ……」

領「ポン デア」

記「愈革命成就だそうですね」

領「なんでも、海軍が軍艦で政府を威脅した模樣だね」

記「バウルの市民はモウ今朝から旗行列を始めてますよ」

領「そうかね」

記「餘り新聞記事を檢閲々々で壓迫しすぎたんで、反つて早く爆發した樣ですね」

領「だが、政府としちゃあ、アヽするより外はあるまい」

記「そんな事はないでしよふ。一九二四年度の革命の時などは新聞記事に、何等制肘を加へなかつたで、反つて、民衆はドチラがいヽ悪いの判斷がついて、世間が今度の騒動よりも朗かでしたよ」

領「そうかね」

扨から窓下を騒々しく走り去る人々の足音がした。

バタ〜〜〜〜ットと、床板をふみならして、ボーイがかけ込んで來る。領事の室の戸口に、息氣せききつて、

領事さん、今、それその下の方で、皆んなが燒打を初めました。今にも泣き出しそうな顔である。

これを聞いた濱口領事の顏色がサット變つた。

そゝそうか……どこで……と立ち上りかけたが、私の顏をチラと見て、困乱氣分を狼狽しながら引込めに務める。

私は思つた。

あれが日本人のいゝ処だ、と

記「下の方の燒打つて、ヅツと下かね」

ボ「はい……此の眞下のパチスタの方です」

記「ウーン、それなら、新聞社だ、オ●バウルーだ。デアリオ ノロエステもやらるゝか知らん。兎に角始まりましたね。腹いせ……群集心理ですね」

領「こち等にはきまい」

記「まさか此方には來ませんよ」

私は領事館の皮の椅子から立ち上つた。

それでは一寸エスプロラールして來ますか……さよなら。

私が立ち上ると、同時に濱口領事がツンと立ち上つた。

狼狽の容貌は已に消ゑて居たが、不安の面持ちは口元にも現れてゐた。

唯れか來る迄、私はこゝに居てやらう――かとも想つたが、兎に角、領事館のエスカーダを降りて鐵門を飛出した。直ぐその四ツ角には、日本人の三、四人と、伯人の大人、小供が七八人群れて、坂下の方を眺めて居る私もその方を眺めた。

パット……煙が上つて居る。

群集が、皆んな往來に停止して煙の立つ家の方へ向つて居る皆んなが手を前の方に眞直延べて、撲り合つて居る樣に見ゑる。

四角を離れて砂の上を四五歩逃き出すと、背後から、

「オーイ!!」

と呼ぶものがある。振りかゑると領事館の原口君だ。領事館の鐵門の前を通り過ぎて私の方へ歩て來る。私もその方へ後戻りする。

原「モウ君、赤旗だ〜〜」

記「今、あそこで、燒打を初めた、屹度 オ●バウル新聞社だ行つて見ようか……」

原「ウン……」と二人足はそろゑて動き出した瞬間、

背後から、ボーイ君が、

「原口さん、領事さんが呼んで居ます。……」

二人はふりかゑると、直ぐ又領事館の鐵門へ向け、忽々と歩いた。

私の頭では室の中で獨一人淋しがつて居る濱口領事のションボリした姿を想出した。

原口君が、今朝からの話を、息氣せききつて始める。昨宵からウス〜〜知れて居たそうですね。リオでは昨日の朝から、サンパウロでも、昨日の朝九時頃から始めたそうです。何んでも陸海軍人共同のレボールタだそうですノロエステの鐵工廠の職工が、モウ赤旗立てゝ、パチスタを練り歩るいて居ます。バウル市でも一騒動起こすでしよふ。デモクラット派は充分殺氣立つて居る樣です。

領「いよ〜〜始めたね。」

斯ふ云つた濱口さんの顏には其時始めて落ついた何時ものニコ〜〜の笑みが、あの顏色の悪るい眼ぢりにあらはれた。

私はそれを見て一先安心したような氣分になつて、濱口さんと、原口さんを領事館へぼつたらかして燒打現場へ出かけた。

直ぐその四ツ角で、向から砂の上をヨチ〜〜とおよいで來るニコ〜〜の渡邊義雄君と出遭ふ

渡「デアリオ●ノロエステもやられましたよ、印刷機も叩きの毀はされ、紙もチボもスツカ投げ出され。積上して火をつけましたよ、メチャ〜〜です

記「君モー一度行つて見んか」

と私は歩き出した。

渡邊君も小股に私の側を急いで來る。それから三町程のダンダラ坂下の「オー、バウル」社の前に私共が着いた時は、そこには、うごめく人々の群は、モウ誰れも憤慨、慷慨して居る樣な氣配は見ゑなかつた、燒けのこりの街上に撒らばつた紙屑や、ボロ箱の毀れなどを、靴先で蹴つたり、手で拾ろひあげたりして何物か錢目なものを、鵜の目鷹の目であさつて居る人々が、煙の中に右往左往して居た。

私共二人は、バウル公園前の市役所の門前に立つた。

鐵の扉は堅く閉めてあつた。

半紙一枚の紙に、タイプライターで告示があつた。

「二十五日以後、當市の秩序維持は總て軍隊で保ち、カンデイド ブラボ一等中尉が守備するものなり、何等不安なし

市民は靜謐に可し。」

ジオン●デアス

カンポス陸軍少佐

と張出してあつた。

シネマの眞前の家具商古賀政治さんの前を通る。大勢の伯人男が店口に立つて居る。

その間から古賀さんの妻君の塑像の如き藝術顏が眞白く現はれて居た。政治さんの妻は見ゑぬが、大丈夫無事だなと、默つて通過ぎる。

デアリオ●ノロエステ社の燒打場へ行つて見る。

宅のエトールの妻がある、その横に、兄の敏信の顏がうき出して來る。

オ●バウル同樣 メチャ〜〜だ

一一個の紙が、荷造のまゝ、丸燒けしつゝあつた。

印刷機が、ほんの台だけ室の中に黑ろく動かず挫つて居た。

あたりは活字散乱だ。

今朝迄發行したのに、既に此の始末だ。全く一寸先は闇の世だなんて云つて見た処で、私の胸に、同業相憐れむ氣分は極く尠ない。甚だ申譯ない事だ。私もレボルトーゾなのか知ら。

煙の中を歩きかけると、パチスタの町の方から、知合の、ドツトル、エスピンドラ君が、額の汗を、手拳で振拂ひつゝ帽子を片手に、禿頭ふり〜〜、眞紅な顏して、偉容快々然とやつて來る私の目と目とビッタリ合つた時、彼は私に近づき、私は彼に近づき、街上二人は肩と肩とを相抱き叩き合つてしまつた。

お芽出とう――と私の口がすべつた時、彼のさびた朗快な聲が耳に呼出されて、一日留置所で鉄拳制裁にも會つたと噂された。

其後禁足を喰つて、毎日〜〜切齒握腕、恨みを呑み、快々として居たもの、昨夜革命成就ときいた以來――手の舞ひ足の踏む処を知らず……赤旗の下に示威運動の先鋒に立つて、今やつと家路へ、不取敢快々然と歸る処だつたのだ。

彼はバウリスターノでない。エスピリット●サント州生れだ

政治談になると、悲歌慷慨、齒の治療も忘れて、自身の入齒をふき飛ばした事、何度もあるそうな。齒醫者としてはバウル第一の上手の折紙つきだ。

パチスタを通つて見る。

昨日迄のレガリスタの顏見知の人々が、モウ皆んな胸や、頸や、頭に赤い布をつけたり、まとつたりして、始めからレボルトーゾであつた樣な顏して通る。

「人心 掌をかゑす如し」にゾツトさせられる。

午后二時から、旗行列があるそうな――斯んな噂をきいて、私は社へ一先歸つた。

そうして午后は戰跡をたどる樣な氣分で、齊藤政一君とパウルの商業區を亦一廻りした。

其午后、澤尾ホテルのサロンにつかれた足を休ませて居る人に、齊藤ドツトル、齊藤政一君渡邊義雄君、吾社の池上、田中川崎等々の僕等に、一寸面喰つた事件が展開した。それはバウル驛頭へ、

ノロエステ鉄道で……カンポグランデのマト●グロッソ州兵が、歩、工、騎兵約八百餘が、革命成就の挨拶に、音もなく這入つて來た迅速さであつた。

マトグロッソ州兵が三千、今驛に着くそうな……と渡邊義雄君から聞いた時、私は、まさかと疑ひ、否定した。

三千の兵、それを運轉するには十五台連結の列車が四台はいる。昨日革命が上就して、今日マ州兵がバウル市に着くなんてマサカそんな……と、噂を否認したが……眼前の事實は何うにも拒否出來なかつた。

數においてこそ、三千と八百の違いはあるが、眞正眞銘のマ州兵だ。

きけば、昨日はもうアラサツーバに來て居たんだつて。

二人は、モウ――それ丈で何とも云はずニツコリ別れた。親しみ深く。

彼はバウル市で、デモクラット派の硬直な一人だ先日革命勃發と同時に、共和派の警察署長第六感迄が異國者とは云へ、全く鈍つて居たに、恥しかつたそれから、二十二日夜、當地をたつて、リオ市迄行つたバウル領事館の中野書記生は、その日は、リオの大使館で縫田代理大使と會談中、コツパカバナ砲台で打ち出す雷々たる砲聲をきいたそうな。

豊富君は、其の日は郊外の自分の西瓜畑で、西瓜の赤さ加減を檢閲して居たそうな。

本日から白も黑もムラタも皆んな赤だ。赤だ。

廣告

Casa JAPONEZA Guarantan
雜貨一般
農産物仲買
上村
アグランタン驛

旅館
御視察の際には是非當館へ
バストス
ソロカバナ線
クワタ驛バストス移住組合殖民地
吉永宗義

石井物理療院
家傳
慢性諸病に特効ある
電波應用ラジユム
温灸器新設
家傳名灸針
電氣マッサージ療法
ペンナポリス市

記念には
寫眞
撮影は本田館
場所はリンス驛

BAR
KICHISHE LINS
心地良き簡易な御休憩所
バール キチセ
吉瀬軍平
ノロエステ線リンス市アベニーダ七、セッテンブロ二

醤油造元
日本醤油に勝る
入印油
アラサツーバ アグツイベ入口
菊地兄弟醤油店

Sociedade Colonizadora do Brasi Ltd.
Caixa Postal 2975 Rua Boa Vista II
São Paulo

ノロエステ線チエテ移住地
四万七千アルケーレス
ソロカバナ線バストス移住地
一万三千アルケーレス

双方共原始林の處女地帶、地味肥沃無比、珈琲其他雜作に好適今が絶好の機會です、地價アルケール「七百ミル」毎十アルケールに付「一コント二百ミル」を前納せば殘餘は六ケ年々賦拂、間作物で容易く拂つてゆけます。

移住地には日本人醫師、藥劑師も居り、病院、學校、製材所精米所、其他の設備が完全してゐますから入植後の衛生子弟教育等に就いは少しも心配ありません。

（尙詳細は組合本部又は移住地へ御照會下さい）

有限責任 ブラジル拓植組合

在ブラジル日本人同仁會
衛生相談部

此たび本會内に衛生相談部を新設し左記各項の衛生上の通信相談に應ずることになりました。個人なると團体なるとを問はず遠慮なく御利用下さい

左記

一、病氣並に保健上の凡ての相談
病狀はなるべく委しくお知らせ下さい、一般の參考となるものは質問者へ回答する外新聞紙上で發表します
二、土地開發に對する衛生上の相談
從來土地開發に際し大きな邪魔であつた風土病も本會の研究によつて僅かの注意と費用で豫防出來るやうになりました、新たに土地を購入し若くは購入されんとする人は大体の地形面積等記入の上御質問下さい
三、住宅衛生に關する相談
在伯邦人農家の住宅を見ると其かけた費用や勞力の割合に非衛生的なものが多い、住宅は一日の疲れを休める所。これをどうすれば衛生的に而も經濟的に建てられるかと云ふ相談

質問の文字は判り易く書き、封筒の上に「衛生相談部」と記されたし

一九三〇年十月
在ブラジル日本人同仁會
Dojinkai Caixa 2976 São Paulo

本社發行三線年鑑（送料共十五ミル）

△最新式設備を以つて一般治療に應ず
向井齒科醫院
ブロミツソン驛プラサ、プリメーロデ、マイオ街
郵函――九七

齒科醫寶臣衛
北西線アラサツーバ驛【大原商店ト郵便局ノ中間】
T. Takara CIRURGIÃO DENTISTA ARAÇATUBA

北最新式米治療
齒科醫山中信一
北西線リンス驛リオ●プランコ街二五

Dentista Matsuoka
Promissão
松岡齒科醫院
北西線ブロミツソンセルジッペ街

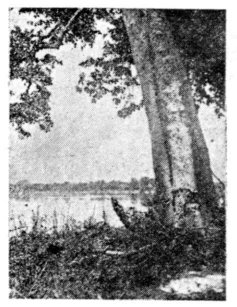
Casa Anse
Armazem de Seccos e Molhados
Machinas de Beneficiar
Café e Arroz
Moinho de Fuba
Araçatuba
珈琲精撰所
精米所
アグア●リンバ殖民地内
安瀬商店
アラサツーバ倉庫 事務所
北西線アラサツーバ驛
郵函…二〇八 電話…五

東京式製菓
横濱堂
北西線ブロミツソン驛セルヂツペ街 岸城富士作

文藝

春の旅

秋圃



（投稿歓迎）

「プリマベーラ」何と云ふ魅惑的な言葉であり時詩であらう。

爽やかな風が都大路に吹いて街路樹の新緑が燃へ、前庭には春の花が咲いた。私はもうたまらなく旅情にそゝられてひとゝ旅に出た。

私の放浪性は、旅のみが充して呉れる、野から野へ、森から森へ。

私は今セルトンの旅に新らしい生めいの躍動を覺へる。

變化の多いソロカバナ線は、幾度旅しても懷かしい。あの北西線のコーヒ畑の中ばかりを火の子をはいて、ガタ揺れに揺られて走る汽車の旅に較ぶれば、ソロカバナ線は樂しいものが多い。

雨上りの奥地は赤い土塵も汽車の窓には吹きこまず、展望悉く綠愈々濃かに生氣に滿ちて居る、山も野も水も凡べてが春の裝ひをして居る。

茫々涯々の牧場には牛の群が見ゆる、アバカシイの饒かな實をつけた畑が續く、ラランジャのこんもりした畑など、ソロカバナ線らしい情景である。

綠の牧草のはてもなく續く丘の上に、ジャボチカバーの丸味ある茂に圍まれた野の中の一軒家の風車が廻つて、山羊に七面鳥など嬉遊して居る小景は、ブラジルならでは味へぬ繪である。

往く人、歸る人、汽車進ひにつけて、列車の中は奥地らしい空氣が濃くなつてくる。

丘の上の街ポツカツ、綠樹に蓋はれたアバレーの街を過ぐるとき、私は幾度も幾度も、懷しい曾遊の日を思出して汽車のまどから飽かず眺めた。

珈琲畑には綠の波が風に揺ぎ稻三寸ミリヨ五寸、フエジョンは白い花をつけて、種蒔く人の喜びを示して居る。

黄に赤に、綠のマツは春の花で強く彩られ、牧草の薫りは照りかへる日光にひせる樣である。

× ×

サント・アナスタシオ驛に車を捨てゝ、十六キロのリベロンドス・インヂオの植民地を訪ねた。

總地域八千アルケーレス、標高五百米突、其内に伊太利人の土地持ちが百家族、コロノ七百家族が集團して居る。

七年前に開いた植民地だけに珈琲も幼樹が多い。パトロモニヤ六域の内には、白亞塗りの教會堂もあれば、運動場も製材所練瓦工場も、ナベンダも二戸ある。

植民地の重鎮カルロス氏を訪ねれば、六十域のシチヨには五萬五千株の珈琲がフオルマ。パスト十域の向ふの丘に豊饒な實をつけて居る。

牛十頭、ボルコ二十。鶏群が家の周圍に餌をあさり、土壁の入植當時の堀立小屋と、舊型のコロニヤ六家族が、コレゴに沿つて劃されて居る。

勞働力四人、此の山に入つた時には二十五コントスの現金を懷にして居つたと云ふ。

四歳のとき故國を出てから三十五年、其の間一介の移民が今日に至る迄の彼等の經路と、不景氣の今日、歐洲移植民の現狀を窺ひたいのが、此度の私の旅の目的である。

彼は獨立農として土地持になる迄、二十四年の耕地生活をした。其間同一コロニヤに十八年居つたことさへあると云つて居る。六年契約二度を了へたときの彼の懷には二十五コントスの現金が殘されて居つた。

斯くの如き經路を踏んで來る歐洲移民には、低資請願もなく、悠々漠々、不景氣にも左まで萎縮せず、景氣にも浮立たずブロの如く、牛の如く、ただ彼等には悠久の月日のみが流れて居る。

本國に送金したことなきやと問へば、けげんに堪へぬ眼して金は玆に入要だと嘯いて居る。

學齡兒童四五〇人を算するも、學校の設備はない、僅かに夜學をして居る位で、學校問題に話頭を進ひれば、「六年前迄は一体マクトだつた、まだ六年、開けて日が淺い」と答へる。彼等は一ケ月一度神父が來て教化する教會堂、毎日曜のカテシズモに依つて社會人としての教養を受けて居る。宗教の力で生き、信仰が萬事を支配して居る。

悠々其地に親しみ、其の郷に自分の境地を開きつゝ。

第一世は銅、第二世は銀、第三世は金

を期して居る。私が五六年もの後再び此の地を訪ねる時には、恐らく練瓦造の住宅に、彼等は乳を搾り、ケージョを作り、マンテイガを製造し、豊かな果樹と家畜を持つて、もつと〳〵恵まれた生活を樂んで居る事だらう。

そして凡てが借金と云ふくびかせを知らずに居る事だらう。

同胞の現在を顧みて、私は、銅、銀、それから金、此の深いなどの意義が解けたやうな氣がした。

聖報歌壇

詩三篇

●朝　顔　岡崎獨旅行

此の戯曲は實にむづかしい
子供がカタコトで唄つてゐるのが
眼の働きよりも強い勢で
耳にこびりついて來る
おや
今朝もまためんどりが卵を産やがつたナ
こんな朝らかな日和に
他の頭が落つかないのも當り前だ
ほうの火が居にこびりつかうとする
これから一つ朝顔に支柱を呉れてやろう

●ちぎれ雲

こゝ十年すれば
みんな飛行機で日本に歸るだろう
そうして時代おくれの汽船をつないで
大西洋に橋をかけるかうむ、それもよかろう
だけど
不經濟に頭をつかつた人間は
いつの時代にもあるじやないか
そこで俺はしやく熱の太陽を浴びながら
ちぎれ雲に飛びのつて
お先に失敬するだろう

●一人で並んで行く

南十字星がどこにあるか知つてる？
知らなくともそが君が俺よりエライと云ふ理由にはならない
馬鹿だナ

投稿歓迎

兒童作文

投書歓迎

リンス學園　廣木正則

嫁つたとの
悲しい便りが
今つきました

△町の朝

何時もの樣に今朝も又、パン配達の合圖の笛に目を覺ました。起き上つて窓の戸を開けると、未だ薄暗い。門口へ出て見ると丁度其處をパン配達の車が一臺ががらがらと音高く過ぎた。未だ早いので人通りも少ない。又一臺の牛乳配達が下の方から驅けて來る。過ぎるのかと思つて居ると、はたと止つた。すると御早うと、僕に言つて、カネカに牛乳を入れて、其れを何時も置く所に置いて、又元氣よく馬に鞭打つては、家家に配つて居る太陽が赤赤と、輝いて來た。と此の瞬間に暗國の世界から光明の世界に來た樣な感じがした。此處彼處の硝子戸にきらきら太陽の光線が反射して居る。何處を見ても戸が開いて居る。學校の前の歯醫者の家の下女が、庭園に叩かれる、追剝に會つた樣

俗物と豪傑と聖人

森虚無男

私は社會の現象の凡ては、擴張せられんとする生命慾の現れであると考へてゐる。即、社會の衆現象の究極が擴張であり、衆現象は擴張に抱擁され、擴張に統一されるが故に、擴張は究極的、普遍的、統一的、即、人生の第一原理であるといふ。

私はこの人生の第一原理なる擴張を、實現的擴張及理想的擴張とに大別してゐる、而して現實的擴張を肉體的擴張と稱し、理想的擴張を豪傑的擴張及聖人的擴張と稱してゐる。

人類が萬物の靈長となり自稱し得る所の理由は、他の動物と異つて、この豪傑的擴張と聖人的擴張、即ち理想的擴ちよう慾を有する処にあると思ふ。即、物質、精神兩文明はこの理想的擴張慾に因してゐるのであつて若し人類が、只肉體的擴張慾丈けであつたなれば、他の動物と

と謂へば、肉體的擴張とは自己の肉體を保存し、それを繁殖させんとする慾望で、それは食慾と性慾とに依つて行なはれてゐるのである。それ等は諸兄、諸姉の日々体驗して居られる事であり、且生理學上明瞭に證明せられてゐるから、玆にくど〳〵説明するの必要はないと思ふ。

而して生命の本質が無限或は有限かも知れぬが、兎に角、宇宙大に擴張せんとするものであるから、只肉體丈けではその目的を達する事は到底不可能である。

▲リンスの親木は馬鹿に大きい直經百幾十糎米といふ大木だ。不景氣であらうが、不況であらうが、リンスはさしたる大影響は受けてゐない。見よ、其の貨物車の幅襞することを、其の自動車の往來することを、其の倉庫の荷動きを、惠まれたる都市よ、彼女は十年にして二千餘戸壹萬の人口を生んだ。自然の寵兒である。

△だがこの寵兒の父たる農村には勘なからぬ惱がある。地質の問題である。地力の問題である。

砂質壤土はテーラ・ロッシヤだけの地力が無いといふのだ。そして彼等はこれを恐れて夙夜安からぬ夢に襲はれて居る。彼等は現耕地を二十年、三十年の生めいだと觀じてゐる。永住の地墳墓の地とは思つてゐない。折り良くば萬金を懷にして、更に他に良地を覓めんと、焦慮するものである。

△此の一時的の浮腰思想は、率いて畜生木のリンス商人に響かないでは措かぬ。同じ一時的浮腰商人は信用よりは利益だ、薄利よりは暴利だといふ事にならねばならぬ。リンスの禍根は玆に伏在する。此の禍根を拔かない限り、リンスの存在は線香花火に類したものだ。だが此の考へ方は重大な錯誤がある。

△今日の農家諸君の眼には、全く珈琲樹の外には一農産物もないのだ。そして珈琲樹の一代を以つて地力の壽命だと信じてゐる。しかも其の一代たる樹齢の推定は、地力の維持法も樹の勢力保存法も考慮には入れてゐないのだ。だから直ぐにも他に移轉しなければならぬ樣な危惧心を懷いてゐるのだ。

△全體そんな推定法は何處に根

不休の努力を續けても、それは地球上の一部分に於ける体外擴ちように過ぎず、到底人慾の滿足、理想の實現は不可能である。其の必然的結果として聖人が產れ出たのである。私が玆にいふ所の聖人とは、博汎なる知識の所有者である事は謂ふ迄もない。

人生問題中最も重大問題である。この善惡の理解と同時に聖人の意義も明瞭になる道理である。私は玆にその善の意象の本根探索を試むるに先立ち、世の宗教家や神靈派哲學士等の善惡觀を拜借する事にする。彼等は曰く『我々の心中に所有する所の善惡の意象は果して何に因つて生じたものであるか、曰く、道德の意象は教育に由つて得たものである』と。勿論教育の人心の善導に對する効果は大であると爲すも、若し吾人の心中に善を善とし、惡を惡とする念、即道德の意象が無い時は

如何にそれを教導しても、何に由つて効果を收むることを得るであらうか。或は曰く『法律制度に由つて、それを得る』と。

然ら、人若し法律の命する所を以つて善とし、その禁ずる所を以つて惡と爲すと言ふ時は、制作者未だ法制を設置しなかつた以前には善惡の別は無かつたのである。若し然る時は、彼の制作者は何を以つて土臺と爲し、法律を定めたであらうか。善惡の別は法律の存在以前に存在して居た事は史籍の証明する所である。故に法律は善惡の意象より出發したものであつて、善惡は法律に由つて生じたものではない。或は曰く『感激の情と、憤怒の情とから善惡の意象が出發したのである』と、嗚呼それは原因と結果とを逆倒にした謬見である。我々が本來、善惡の意象を所有して居るが故に、善事を見聞するに際して感激し、惡事を見聞するに際して憤怒するのである。若し初めより善惡の意象が無かつたならば、何によつて感激、或は憤怒するであらうか。即、善惡の意象が因であつて感激憤怒は果なのである。

と、然も、私はそれ等の主張に對しては雙手を擧げて贊成するものである。つゞく

爲に立つてゐる商業でなくて、農村に寄生して、其の運命を全く農村に托してゐるリンスは今日の如く農村の盛衰消長に無關心であつてはならない。全く共存共榮の新旗幟を樹てて、農村の爲に貢献する所がなくては駄目だ。親木を疲弊させて寄生木の繁榮する例はない。農村の金融にも、產業組織にも、倉庫設置にも、教育の普及にも、知識の輸入にも、健全なる娯樂機關の設置にも、醫療にも、病院にも干與して相當な努力と、計策とがなければならぬ。

▲リンスの親木は馬鹿に大きい直經百幾十糎米といふ大木だ。不景氣であらうが、不況であらうが、リンスはさしたる大影響は受けてゐない。見よ、其の貨物車の幅襞することを、其の自動車の往來することを、其の倉庫の荷動きを、惠まれたる都市よ、彼女は十年にして二千餘戸壹萬の人口を生んだ。自然の寵兒である。

△だがこの寵兒の父たる農村には勘なからぬ惱がある。地質の問題である。地力の問題である。

砂質壤土はテーラ・ロッシヤだけの地力が無いといふのだ。そして彼等はこれを恐れて夙夜安からぬ夢に襲はれて居る。彼等は現耕地を二十年、三十年の生めいだと觀じてゐる。永住の地墳墓の地とは思つてゐない。折り良くば萬金を懷にして、更に他に良地を覓めんと、焦慮するものである。

△此の一時的の浮腰思想は、率いて畜生木のリンス商人に響かないでは措かぬ。同じ一時的浮腰商人は信用よりは利益だ、薄利よりは暴利だといふ事にならねばならぬ。リンスの禍根は玆に伏在する。此の禍根を拔かない限り、リンスの存在は線香花火に類したものだ。だが此の考へ方は重大な錯誤がある。

△今日の農家諸君の眼には、全く珈琲樹の外には一農產物もないのだ。そして珈琲樹の一代を以つて地力の壽命だと信じてゐる。しかも其の一代たる樹齢の推定は、地力の維持法も樹の勢力保存法も考慮には入れてゐないのだ。だから直ぐにも他に移轉しなければならぬ樣な危惧心を懷いてゐるのだ。

△特に僕が素人眼に映ずるものは果樹である。地方の高温度と砂質とを利用するに適するものはラランジャ、バイアーノとかパカシとか其他の果樹である。といふと諸君は、クメーラであるまいし、カンビイナスであるまいし、何うして果樹で農家の經濟が立つか。と反駁するであらう。實にさうだ。地方の消化する果樹は鮮少なものだ。だからこれには加工場が必要である。之れを果汁に化し、之を果肉に清涼飲料とし、美酒とするのだけの工夫はなければならぬ。だがそうすれば無限の需要がある。高低上下常なきブラジル景氣に支配せらる事もない。恒久の產業と化するのである。其他煙草がある、棉花がある、養蠶がある。何を苦しんで此の良地を捨てるのだ。◇

據つて爲に立つてゐる商業でなくて、農村に寄生して、其の運命を全く農村に托してゐるリンスは今日の如く農村の盛衰消長に無關心であつてはならない。全く共存共榮の新旗幟を樹てて、農村の爲に貢献する所がなくては駄目だ。親木を疲弊させて寄生木の繁榮する例はない。農村の金融にも、產業組織にも、倉庫設置にも、教育の普及にも、知識の輸入にも、健全なる娯樂機關の設置にも、醫療にも、病院にも干與して相當な努力と、計策とがなければならぬ。

▲リンスの親木は馬鹿に大きい直經百幾十糎米といふ大木だ。不景氣であらうが、不況であらうが、リンスはさしたる大影響は受けてゐない。見よ、其の貨物車の幅襞することを、其の自動車の往來することを、其の倉庫の荷動きを、惠まれたる都市よ、彼女は十年にして二千餘戸壹萬の人口を生んだ。自然の寵兒である。

△だがこの寵兒の父たる農村には勘なからぬ惱がある。地質の問題である。地力の問題である。

砂質壤土はテーラ・ロッシヤだけの地力が無いといふのだ。そして彼等はこれを恐れて夙夜安からぬ夢に襲はれて居る。彼等は現耕地を二十年、三十年の生めいだと觀じてゐる。永住の地墳墓の地とは思つてゐない。折り良くば萬金を懷にして、更に他に良地を覓めんと、焦慮するものである。

△此の一時的の浮腰思想は、率いて畜生木のリンス商人に響かないでは措かぬ。同じ一時的浮腰商人は信用よりは利益だ、薄利よりは暴利だといふ事にならねばならぬ。リンスの禍根は玆に伏在する。此の禍根を拔かない限り、リンスの存在は線香花火に類したものだ。だが此の考へ方は重大な錯誤がある。

△今日の農家諸君の眼には、全く珈琲樹の外には一農產物もないのだ。そして珈琲樹の一代を以つて地力の壽命だと信じてゐる。しかも其の一代たる樹齢の推定は、地力の維持法も樹の勢力保存法も考慮には入れてゐないのだ。だから直ぐにも他に移轉しなければならぬ樣な危惧心を懷いてゐるのだ。

△全體そんな推定法は何處に根據を有つてゐるのか。畏らくは彼の地力濫費、樹勢虐使の、原始的栽培法を行つた、テーラ・ロッシヤ地方に於ける樹齢を、唯一の先例として、諸君の砂質壤土に於ける樹齢を憶測したものであらう。さもなければ十五年だ、二十年だといふ數字が出て來る譯がない。畏ろしい魔の神に惑はされたものである。

△よし百歩を讓つて、諸君の思考するが如く、珈琲の樹齢を二十年、三十年にして終るものと、するも、其は珈琲樹に對する地力の消耗に過ぎない。隨つて他の植物を栽培するに堪へないといふ意味にはならぬ。諸君が珈琲以外の農產物を一顧すれば、其處に幾多の候補植物があるのであらう。殊に砂壤土に好適するものは幾らでもある。諸君が處女林を伐採した時、自然に繁茂してゐた植物の種類を數へて見ても解ることだ。

至急
女中さん一名
お偃ひしたし
相當の年輩の方ならなほ好都合です
聖州新報社

リンスの將來【四】

なものだとか、多類の買物には
パウルーカ、プロミツソンに行
くのだとか言つてゐる。
▲それは何を意味するか、リン
ス商人は暴利を貪るといふ結論
だ。商業都市として立つリンス
がこんな風評を立てられては駄
目だ。僕の見る所でもリンスの
商業は近代式とは思はれない。
魚釣式で來る客のみを相手にし
て『いやならよせ』だ。客と妥
協して希望を充したり、客の便
宜の爲に奔走してやる親切がな
いのだ。だから直ぐにも他に移
轉しなければならぬ樣な危惧心
を懷いてゐるのだ。
△特に僕が素人眼に映ずるもの
は果樹である。地方の高温度と
砂質とを利用するに適するもの
はラランジャ、バイアーノとか
パカシとか其他の果樹である。
といふと諸君は、クメーラであ
るまいし、カンビイナスである
まいし、何うして果樹で農家の
經濟が立つか。と反駁するであ
らう。實にさうだ。地方の消化
する果樹は鮮少なものだ。だか
らこれには加工場が必要である
之れを果汁に化し、之を果肉に
清涼飲料とし、美酒とするのだ
けの工夫はなければならぬ。だ
がそうすれば無限の需要がある
。高低上下常なきブラジル景氣
に支配せらる事もない。恒久の
產業と化するのである。其他煙
草がある、棉花がある、養蠶が
ある。何を苦しんで此の良地を
捨てるのだ。◇

Casa Sato
Est. Fructal
Variante
Araçatuba Jupia
アラサツーバ變更線フルタール驛
郵函…二〇八　佐藤總一郎

Casa Yida
H. YIDA
Promissão,
○○内外雜貨
○○小間物類
○其他一切
飯田商店
プロミツソン驛前　飯田彦光

Casa Arita
Caixa 82
-Guayçara-
▼内外雜貨　▼小間物
▲酒類一式
▼農產物仲買　△白米の御用命に應ず▽
有田商店
有田義太郎
グアキサーラ驛　郵函……八二

雜貨小間物
穀物仲買
上田商店
パウリスタ延長線ガルサ驛前

Dentista
M. IRIE
Cafelandia
Penna
最新式設備　技巧優秀
齒科醫　入惠正行
カフエランヂア驛（川尾旅館隣）

藥局（モデルナ）
調劑確正
敏速廉價
藥品豊富
藥劑師　中須矢吉
リンス市ルイス・ガマ街四二

服地取揃へ在リマス
田口洋服店
アラサツーバ驛　郵函二〇八

竹内商店
ペンナ驛カフエランヂヤ町…郵函一二四
請內外雜貨小間物類雜穀物仲買
竹内豊次

佐藤商店
アラサツーバ變更線フルタール驛
郵函…二〇八　佐藤總一郎

親切にして清潔本位
熊本旅館
北西線アラサツーバ　郵函　二〇三
田ノ上熊吉

革命總帥 ジエツリオ・バルガス氏 伯國大統領 就任挨拶と 政綱發表

去る三日、リオ首府カテ政廳に於て、革命總帥ジエツリオ・バルガス氏は伯國大統領就任挨拶の式を擧げた式場は伯國デモクラット黨朝野の顯官有士で群集し陸海軍人高官兵隊の參列ありタソ・フラガゾ將軍が假政府代表して挨拶あり、次いでジエツリオ氏は、伯國大統領として就任に際し次の如く述べた

一、特赦令ノ執行
二、道德及科學ノ振興策ヲ企テ教育、衛生又ハ協會等ノ名義便宜ヲ籍リ、又其仲介ニヨリ腐敗行爲アルモノ、根絶ヲ圖ル
三、國民教育ノ奬勵、特ニ專門技術教育ノ普及ヲ圖ル
其爲ニ中央政府ハ各州當局ト直接協議奬勵シ、新組織トシテ教育(文部)省及衛生省ノ二省ヲ、其經費ハ現在ヨリ超過セザル方針ノ基ニ創設スル
四、諮問評議員會ノ制定ヲナシ委員ハ個々卓越セル優秀ノ人々ニヨリ組織シ、誠實誠意、公明正大、新理想ノ出現ニ資ス
五、前内閣ノ責任、殊ニ公金用途ニ關シテハ審査員ヲ任命ス
六、國防ニ必要ナル陸海軍備ノ新編制ヲ創メル
七、選擧法の改正、ヤガテ實現スル選擧投票ノ正確ナ保証ニ盡力スル
八、裁判機關ノ改善ヲ企ツル、國民一般ニ選擧手續法ノ承認其職權ヲモテル裁判官ノ物心兩面ノ眞實ナ獨立ヲ脅ヤカス裁判組織ノ改善ヲヤル
九、中央政府ノ暴政ニ對抗シ、各州民及各個ノ自治ヲ維持スル、國家批判ノ權能ヲモツ人民ノ代表タル代議士選擧法ノ改良を行フ
十、行政上ノ普通公債整理ヲ簡單ニ執行スル
法律上複雜錯綜セルモノハ、必要缺ク可カラザルモノヽミニ止メ、發行額面ノ書直ヲ行フ、其他附帶、加附條件ハ此際省略スル
十一、財政緊縮政策ヲ行ヒ、不生産的經費ヲ削除スル、吾ガ財政難救濟ニ止ムヲ得ヌモノヽ
十二、農務省ノ改革ヲ斷行スル
農業問題ニ適宜必要ナルモノヽ爲メニハ現在諸機關ノ缺陷ト不備ヲ改革充實スル
十三、農業全般各方面ノ開拓ニ全力ヲ注ギ、最近經濟原則ノ國際政策ヲ加味シ吾ガ邦輸出貿易ノ搬路擴張ヲ容易ナラシム
十四、租稅法ノ再審議ヲ行ヒ、國民生活向上ヲ妨ゲル國内產材量不使用ノ美術工藝品ノ稅ヲ免除シ脫稅ヲ奬勵スル如キ保護稅法ヲ廢棄スル
十五、勞働省ヲ創設ス
十六、强制的ニデハナイガ、資本團ノ跋扈跳梁ヲオサエ、小農地主ノ自家勞力ニヨル開拓農業組織ノ發達ヲ先ヅ國民ヨリ奬勵スル、斯クテ各自ノ所有土地ニ自力經營ノ開墾建築事業ノ完成ヲ期待スル
十七、全國ニ亘ツテ鉄道布設、道路貫通ノ計畫ヲ漸次ニ實施スル計畫アル
革命の戰禍今將に終結し、不取敢茲にデモクラタ黨革命政府の統領として抱負の一端を述べる
一時の感興にかられてでなく必要なる諸設備は追々と發表する……
斯くて軍樂隊の國歌吹奏裡に諸顯官軍隊市民團隊の擧手の行進禮をうけて恙なく終つた。

カラビナ持ちの强盜團 邦人植民を襲ひ來る 兄と間違られ弟が災難

ブロミツソン―グワイサラ兩驛間にあるカンペストレ屋比久植民地の富山縣人高尾作右エ門氏方には、去二十八日午前八時頃カラビナ携帶の十二三名の强盜團が襲ひ來り四、五名を屋外に見張させ、七、八名は屋内に侵入し高尾氏をカマに仰向けに兩三名にてその手足を押へ他の賊はカラビナをつきつけ、一人はフアカを以て胸元をチク〳〵と刺し乍ら『金を出せ』とゆすり結局現金三ミル五百レイスをかつぱらつて退去した、高尾氏は厚手の外套を着てゐたので幸に輕微の負傷で濟み、又强奪された金額も僅かに三ミル位であつたのは不幸中の幸
尙の强盜團は十七、八名の總勢で他の奴等は附近に於て見張をしておつたらしく、一同黑裝束のいでたちにてカラビナを持ちブロミツソン方面より來て又同方面へ退去したとのこと、この强盜團は作右エ門氏の實兄忠右エ門氏が同植民地にてポチキンを營み且つ金貸業をやつて相當有福であるのを目當に襲ひ來たのが高尾違ひで弟の方を襲つたらしいと云はれてゐる。
その時强盜團は多羅間耕地へ行く道筋やら方角など尋ねたそうで、多羅間耕地では早速夜警團を組織して大に警戒に努めてゐる

ジョアキン・バルボーザ氏 遂に革命派に捕へらる

リンス驛に於ける共和派の大立物、大フゼンデイロ、劍、ピストル、カラビナ、機關銃、それに二百のカツパンを有する大戦分、即ち權力と腕力、そして剛腹と老獪を以て飛ぶ鳥も落すばかりの勢にて驕慢を恣にしたるジョアキン・バルボーザ氏も時勢の向ふところには流石に抗するに由なく、去二十九日午后三時サンパウロ市よりリンスに着し自宅に歸る途中に豫め手配されたる革めい派の爲に難なく捕へられリンス警察署に留置の身となつた彼は斯くあるべきを覺悟し居たるか係官の訊問に對し案外從順にてシン〳〵と答へ何等反抗する模樣はなかつた
因に其后の同人は逮捕后直ちにサンパウロへ護送されたとの說と其まゝリンスのカデヤに拘束されてゐるとの說と兩樣にあるが、何れにしても驕兒の末路や哀れ更に深きを感ず
ジョアキン・バルボーザ氏の今日の境遇に對し先年彼のシルビオ、デ、カンポス氏との間に起つた有名なる一万三千アルケールスの土地係爭事件が彼の時はバルボーザ氏が甘く其目的を達し得たが今次革めい成立の結果或は復讐の擧に出でられシルビオデ、カンポス氏の手に取戻さるゝやらのことなきや、若し斯ることありとすれば現在邦人經營のサンタ、アメリカ植民地は先づ第一番に重大なる問題を惹起するだらうと心配されてゐる

明治節遙拜式と 展覽會

リンス學園にて擧行す

リンス學園にては去三日午前九時より、生徒職員及有志參列し嚴肅裡に明治節遙拜式を擧行し明治大帝の御鴻業を偲び奉つた、式後引つゞき父兄母姉會を開催、谷垣校長先づ生徒學業に關する報告及感想希望等を述べ次いで岩本教師教授上に就き所懷を述べ更に澁谷會長の挨拶山中副會長の質問並に意見の披瀝などがあつたそして學園では二日より生徒の圖書、書取り、手工品其他谷垣校長が蒐集された礦物、昆虫類の標本等を陳列觀覽に供し、尙ほ遙拜式直後左のプログラムの如く生徒の演技（唱歌）を催され父兄母姉は勿論一般來賓に非常の感激を與へた

生徒演技プログラム
一、流れ星　幼稚部
二、チンチン雀　山中姉妹
三、カナリヤ　保科本田
四、古城　男生
五、チンチン千鳥（獨唱）　横山
六、牧神の笛　全女生
七、漁夫の子の歌　鈴木
八、青い鳥　全女生

某邦人棺をかつぎの珍劇

昨日の忠義は今日の仇 有爲轉變は世のならひ

去二十七八日兩夜に亘りリンス市に於て革メイ派勝利の棺桶擔ぎ祝賀行列が行はれたことは既報の通りであるが、廿八日夜の行列に某日本人の一人がカミーザ委で引出されこの棺桶擔ぎの役目を仰付かつた珍劇が演出されたこの某日本人は去三月一日行はれた大統領選擧の際共和派の走狗となつて自動車で駈廻り邦人の有權者やら無權者やらを狩り集め投票せしめたといふ理由の下にこの棺桶擔ぎの役目を群集から强制的にメイぜられたもので折角の忠勤も代が替れば反つて身の破滅の種となり恥を公衆の前にさらさねばならぬ。昨日にかはる今日の哀れさ、げに有爲轉變は世の習ひだ
この選擧事件に關聯した日本人がリンス驛内では可なりに多く、中には相當有志者もあり革命派の外人等はイヤに眼を光らしてにらんで居る。なんぼなんとて餘まりに氣がきゝ過ぎて間がぬけた話。之もレボルソンの產み出した悲喜劇の一幕なるか

珈琲耕地 好模範通譯に 總領事館から 賞與

珈琲耕地に新渡伯日本人が來た、新兵が初めて入營した以上に右も左も事狀不案内だ
此時慈母の如くやさしく何から何まで訓化導いて呉れるのは日本人通譯である
それが根性曲りの通譯と來ては新移民への將に鬼だ
左の人々は多年珈琲耕地にあつて新日本移民の爲め功勞淺からず好模範通譯として認められた人々、今度總領事館よりおほめの言葉丈けでなく日本金七百二十圓づゝを賞與として贈つた
トランス、パール耕地　齊藤幸
サフカイ耕地　野見山秀雄
グワダバラ耕地　廣田千代太
サンタ、イルネスチナ耕地　藤井九熊
サント、アントニオ耕地　石九二郎

支拂猶豫令の修正請願

モラトリヤ

リオ首府商業協會委員は大藏大臣に、現執行中の支拂猶豫令の修正案を提出し請願したそれによれば、十月三日より二十七日に迄の支拂期限の証券に對しては三十日間の支拂猶豫期間を六十日に延期されたしと云ふのである

怪俄で眼玉を突ほぐ

在バウル市の石塚善四郎氏は去る五日自分の家庭にあつて壁に釘を打ち込み居るはづみに釘がビーン飛んで左の眼玉を突きほがしダラ〳〵と水晶體がこぼれてしまつた、直ちに治療中であるが堪え難き苦痛に呻吟して居らるゝ
怪俄とは云へ夫の餘りの不幸に同氏の妻女は看護しながら止め度なく涙を流して居られた

新郵便支局が出來た

アリアンサ殖民地の

ルッサンピーラ驛に

北西線ルッサンピーラ驛は、驛の前后にチエラ殖民地、アリアンサ殖民地と二つの日本人大殖民地を控へて居るので愈今度同驛に郵便支局が當州當局により開始された、今後は書留郵便も同局で取扱ふ由

サンパウロ州 各學校の開校

革めい時局紛擾の爲め去る拾月初旬より閉校中のサンパウロ市及各地各學校は去る五日より授業を開始した、但し現下軍隊宿泊所に宛てられてゐる校舍の生徒に對しては今暫く授業不可能の由

ブラジルに日本の 修養團支部が

名士平沼騏一郎氏を團長とする日本の修養團支部がブラジルにも出來た、團長より九月十一日承認され團旗もその中到着する由
支部長には岡田英定翁の推薦にて北西線ベンナ驛奥の吉田椀忠氏がなつた

革命後のプロミッソン

革めい後のプロミツソン驛はリンスのそれに比し案外に靜穩の狀態にて平常と何等異ることなく、單に市長にルツレュ、ブラト氏が、警察署長にドットル、アレエスソドレ氏が新に就任し新書記逃のあつた位である

グワイサラ驛長は逃亡

平素非常の共和黨ひいきで他人が自由聯合派に肩持つ樣な話しでもすればピストルふり廻しふん慨し居つたといふグワイサラ驛は革めい勝つため辭職し同きスワこそ一大事と何地へか逃亡し去つた由

聖州政府當路者顏振れ

内務長官　ドットル、ジョゼ、カルロス
司法長官　ドットル、ブリュオ、デ、マセドソアレス氏
農務長官　ドットル、エンケ、リデ、パレット氏
ソーザ、ケイローズ氏
財信長官　ドットル、フランシスコ、バエスレーン、デ、モンチペール氏
大藏長官　ホツタケル氏なりしも中央大藏大臣に轉任す
カルドーゾ、メーロ、ネト氏
聖市長　ドットル、ピセンテ、ラーウ氏
警視總監

新假政府 新内閣僚四席就任

内務、司法の兩大臣は南大河州のオズワルド・アラニヤ氏が兼任した
逃信大臣の椅子はパウロ・モラエス・バーロス氏が去つて北部革命の總大將パライバ州出ジユアレス・タボーラ將軍が新任された（同將軍は十五日間の休暇を得飛行機にて故郷へ歸省した
大藏大臣は聖州出身のジユゼマリヤ・ホキタツケル氏に確定した
リオ首府警視總監はバチスタルザルド氏が新任された

笑苦笑微

▲革命騷ぎ漸く濟みやれ〳〵と思ふ間もなく、今度は政黨派對軍閥派の功名爭ひが擡頭し出した。若し乃公等があの場合、あゝした態度に出ずるにあらずは今回の革命は遂にその目的を成就し得なかつたのだ故に俺達が殊勳者である。政權の樞機は當然俺達の掌裡に歸せねばならぬといふのが、軍閥派の言ひ分ださうだ。
▲一九二四年七月、革命にイジドロ將軍が赤旗を押立てゝ見んに失敗したに對し今度は最後の土壇場に至り軍閥の所謂あゝした態度即ち寢返り打ちの戰略に依つてまんまと其目的を達成したのであるから、無論殊勳者であることだけは確な事實であらう、がしかし、政權をこちらに寄越せとねだり出したところは鷸の爭に漁夫の利を占めんとするもの、結局自ら鷸となるとなるらざれば幸甚々々。
▲レボルソン成就祝ひに棺桶擔ぎの行列があり其棺桶擔ぎの役目に某日本人の一人が引き出されたことは我等同胞の面汚しだ然し御當人は蛙面酒々、近頃リンスの子供同志の喧嘩にカン桶擔ぎといふて敵手を辱しめる言葉が流行だ、カン擔ぎと云はれた方は、地團駄踏んで泣き出す有樣、なるほど子供は正直であるだけ恥は恥としてよく知つて居る。
▲リンス學園の補助金貰ひ兼學校建築視察といふ任務を負ふて澁谷定次郎君は、革命の眞最中に決死の男を揮るつてバウルーサンパウロ。サントスを遍歷し用務を了へて、いざ聖市を辭し歸途に就かんとするその日が、折りも折り、革ゝ掉尾の二十四日だ、澁谷君は丁度その時買物に出かけて居つて俄の騷ぎに、びつくり仰天、知らぬ外人の家に飛込んだり、中矢商店に逃げ込んだり、或はぬき足さし足、或は駈け足、なみ足でからく〳〵自分の旅館にたどりつひたが、あの時だけは決死の男は確實に失念して居たそうだ。

●迷い荷物
バウル驛に左の荷物停滯しあり受取人なきときは競賣處分する由に付、心當りの方は至急受取り相成度し
靜岡縣人　吉永行孝
奈良縣人　松井柳行孝
平松博　柳行孝、岡田利之助　曾禰樹、（食器道具あり）不名　布包布に山田佐吉と書いてある

●漢那代議士消息
在サントス球陽會本部よりリンス同支部長宮平市助氏宛着電報によれば、漢那代議士は去月廿二日アエノスに到着後直ちに奥地方面に向ひたるが、伯國着は多分本月上旬頃であらうと、ブエノス日本公使館よりサントス領事館宛通知があつたとの事である

CLINICA DENTARIA
KAMEKITI YAMAMURA
Caixa 101 Rua Urutanga Pennaqollo
伯國免許歯科醫
山村醫院
ペンナポリス市
ウルタガンガ街

廣告

内外雜貨小間物類
青木商店
北西線リンス市公園前　郵函拾七番

△内外商品運搬業
△農產物仲買薄利多賣
Casa Takeda
Armazem de Seccos e Molhados
S.TAKEDA
LINS
武田商店
武田悟
リンス市　郵函……一二九

朝晩の御食事おいしくて御安く差上げます。
バール　つち屋
御希望のお方には旅館も店の方も相當價格にて讓ります
リンス市　ルイス　ガマ―　郵函二〇三

FERRARIA de T. ONISHI -LINS-
自動車修繕
電氣器具
諸機械(繕)
大西鐵工場
リンス驛九月七日街（つちや前）

BARMiKADO
Caixa 401
Biriguy
バール　ミカド
山内一久
ビリグイ　セッチ、デ、セッテンブロ街（用シネマ館中央）郵函四〇一

Casa OHARA
DE
OHARA & IRMÃOS
Machina de Beneficiar Arroz
ARAÇATUBA
雜穀仲買
卸小賣
精綿　精米及フバ製粉所
大原兄弟商會
北西線アラサツーバ驛
カルロス・ゴメス街
郵函……二〇八
電話……三〇番

私の店のタツター一ツの特徴！
それは御客樣方の御容委に一番適合した洋服を作り得ることです
松本洋服店
ノロエスチ線ビリグイ驛　ニポランデヤ　郵函三〇四

MATUFUJI
Caixa, 91
PROMISSÃO
農產物仲買
内外雜貨並に菓子類及和洋酒類
ブリキ細工品取扱
風呂釜、バケツ、メヂーダ（珈琲用）
▲領事館諸願屆用紙あります
北西線アロミツソン驛郵函九一
松藤初市

開業廣告
革命の產物、民衆主義の實現わ所有事業に一新規を來しました。
當ホテルも時代の要求たる民衆自由主義をモツトーとして清潔と親切を旨とし最も安價にして一般の御便宜を計らしていたゞく可く出現仕りました、乞御利用を
平ホテル
館主　平藤作　謹白
各位　ペンナポリス市カデーヤ上側

坂東侠客陣 (7)

「否、もう訊くまい。其方を殺しては祕文の在所が暗になる――殺しもせず、世の明るみへも出さず、其方から口を開くまで、この銓之助も氣長に時節を待つとする……」

「……」

暫らく互の暗默が續いてゐた。解き難い運命の陰影が、二人の横顔を仄暗くしてゐる樣に見ゐた。その間へ、半次が言葉を挿さんで、

「ぢやあ御支度して貰ひやせうか。」と促がした銓之助も廂に暮れる空を仰いで、

「む、時刻も丁度好からう。澤渡へ向つた軍鷄籠は未だ途中に違ひない。拙者はこれから間道を抜けて、檜闇に待ち受けて、其方の賴みは確かに果して遣はすから、雪乃の身は呉々も賴んだぞ。江戸表の用事を果して、二月か三月のうちには、屹度銓子へ訪ねて參る。」

「宜しうございます。どうか御安心なさいまし。」

と銓之助は、鬱人にする樣な柔かな言葉で別れを告げた。そして彼女の肩へ、そッと手を乘せたが、その手には、白蠟石に觸れた冷たさが、感じられるばかりであつた。

めら〳〵と燃ゐては居るが、明るみでは見ゐぬ燐に似た二人の心と心が、爾うした氣不味い沈默をつゞけるうちに、音もなく、一面の水氣が風ともつかず霧とも分たず、四邊をひた〳〵と包んで來た。

「あゝ、此奴あ……」と半次は當惑した樣な聲を出した。

秋の高い山の常として、一刻毎に晴雲する去來の雲が、瞬く間にひく〳〵と、足許へ迄で漂つて來たのであつた。銓之助はフト雪乃の側を離れて、

「こりゃ好い模樣になつた。一寸先も見ゐぬ。此の雲に包まれては軍鷄籠も道に迷つてゐるに相違ない。半次！此の機を外さずに拙者は間道へ急ぐから、其方も雪乃を連れて、今宵のうちに中の條あたり迄落ち延び行くよい。」と云ひ捨てゝ、籬の破れから抜け出して行く樣子なので、半次も續いて。

「銓之助樣、大切な玉は半次が確に預かりましたから、彼方を慥かれ賴みしやすぜ。」と其の背後へ、聲を送つた。

「應――！」と答へたのは耳に屆いたが、銓之助の姿は疾くに見ゐなくなつてゐた。

同時に、雪乃は汪潤してゐた己の手を半次に、グッと握られて、褄をからげる暇もなく茶屋の裏から街道へ急き立られてゐたが、走るうちにも、息つまる程、微細な水玉が顏へ吹ッかけて來て、眉も睫毛も濡れ寒がつて了ふのだつた。――その雲また雲の彼方には、何んな、奇しき未來が、雪乃を待つのであらうか。

暮坂峠　もそれを知らない。

桃色の怒氣

山神の吐く氣息が、白毫の雲となつて、絕ゐずむく〳〵と動いて行く檜の深林を、猿か雷鳥かと眼をみはらせるばかりの迅さで、有笠山の澤の窪へと、馳け降りて行つた一人の武士があ

三國茶屋から、血ぶるいをして出たまゝ、間道をとつて急いだ乾銓之助。

銓之助の目差して來た、軍鷄籠の一行は、と云へば、一刻も前に暮坂峠の茶屋を出發したのだが、大岩から駒寄、檜闇とお練で來るうちに、此の山道特有の濃霧につゝまれて、歩行の捗取ない上に日も暮れて來るので宰領の聲讃役人は雫のたれる饅頭笠の紐から頷りに籠方の人足を叱つてゐた。

檜闇を抜けると、同じ濃霧の中でも幾分か明くなつたが、道は又急に降り蒐つて來て、模糊とした坂の下から、有笠の澤らしい水音ばかりが聞へて來た。

「なるたけ、右へ寄れよゥ右へ――この先からは左が深ゐ谷底へ墜ちてゐるぞ。」と、松井田の島藏は、後の者へ手を振つた時、宰領の武士も、びたッと足を止めて、

「ありや、何の音だ――」と耳を澄した。

「ゐ……」と、島藏も立ち竦んだ。

小才の利いた下役人の一人が直ぐ笠か脱つて地面へ耳を押し當てて、

「あ……誰か來る人足がして來る！」と叫んで起きた。

その言葉も終らないうちに後列の者から、わッと凄い絕叫が立つた。バタ〳〵と誰か仆れた樣子、つゞいて人足の息杖や下役人の笠が折り重つて、どつと前へ押し雪崩れて來た勢で、たッた今島藏が注意したばかりの谷へ、もう二、三人眞ッ逆さまに落ち込んで了つた。

「何だッ！」と島藏が十手を晃りとさせた途端に、宰領の武士も極度の驚きを柄へやつて抜きざまに一刀を構け、

「な、なんぢや！騷ぐまい。」と叱りつけた。

猪か、熊かと、濃霧を透して見ると、何者であらう？ッツすると浮いた一人の影が、坂上から見下しに、ちぬられてゐる大刀を此方へ向けて立つて居るのだ。

その刄金の背を賴つて、スル〳〵と寄つてくる双つの眸、立鍬を刻んだ眉、一文字の口――まさしく乾銓之助である。

「籠破り――ッ。」

と叫んだ下役の一人は、躍り蒐らない途中で、バッサリと饅頭カサから割りつけられて俯ッ伏せになつた。

「野郎ッ、賊の片破れだ！」と十手を揮り込んだ松井田の島藏は、ヒュッと鳴つた切尖に飛ばされて、岩角に脾腹を打つたか起たなくなる。と見た宰領の武士は眦を決して、

「猶豫するなッ。」と他の者を勵まし乍ら、必死の太刀を被つて、一足進んだが、それよりも早く、銓之助の手から輪を描いて來た一閃に、血を飛ばして仰向けに反つた。

小役人、かご人足が先を爭つて澤へ逃げ降りて行くのを、五六間追ひ散らして行つた銓之助は、その時、後ろに方つて、メリ〳〵ッと云ふ破竹の樣な音を聞いた。

ひよいと振り顧つて見ると、抛り出された軍鷄かごの罪人が中から匕首をくわゑて、切り破つたかご目から半身まで脱け出して居たが、竹の裂目に引っかゝつて、藻掻いて居る樣子に見ゐた。

「お――」と銓之助が其處へ馳け寄つて行こうとすると、横かぶらむくり起きた松井田の島藏が一足早く、軍鷄かごを蹴飛ばしたのて、半身まで脱け出してゐた罪人は、あッと其れに摑まつたまゝ底も知れない霧の谷へズ、ーンと、落ち轉ろげて行つた。

「しまつた！」とせん之助が飛び寄つた手は既に遲かつた。島藏の素早い影も霧に穩れて見ゐなくなつてゐた。

「惜しい事を……」とせん之助は血を浴びた疲れと共に、暫く茫としてゐたが、ふと足許に落ちてゐた軍鷄かごの打札『房州無宿、千波の霧太郎』とあるのを拾つて、それを懷に納れたまま、忽然と山から姿を消して了つた。

▲美しきベルゲン

二十五日午後ベルゲン着。Fiordo(峽灣)の關係で海は岸の間際まで非常に深く悠々として船體を横付けにすることが出來る船から見たベルゲンの町は小さくキチンと整つた格好の好い石の家や煉瓦の建物が構成派風に立ち並んで、その間にペイントでぬつた木造の家が赤と白との強烈な色彩を濃く照り返してゐるのが實に美しい。海は凄い程の藍青。街をゆきゝする女、何れも眞白な着物にスコットランド好みのいろんな美しい色合の胸あてのやうなものをしてゐる。健康で林檎のやうに赤い頬。ほゝゐましい街頭風景だ。

「海神」の乘込み

二十五日ベルゲン一泊、二十六日ベルゲン發航、二十七日ウエイ、二十八日メラックを經て二十九日夜トロンジエル上陸、三十日正午トロンジエルを發してほどなく船は急にびたつと停つた。何事が起つたのかと甲板に出て見ると、道化た音樂隊を先頭に、不思議な怪人？が乘り込んで來たking Neptuns 海龍王）の御乘船である。ひとりひとり船客を引張り出しては、何かしきりに話しかける、丁度北極圏（北緯66°30）に入つたので、船客の爲め惡魔除けの祭りをして下さるのだといふ。この王樣頗る愛嬌があつて日本のゐすさんのやうに愛くるしい。一寸見たところ、日本の小供の履く「コッポリ」のやうなものをはいて、からだには「わかめ」をぶらさげて着て居る。たつた今、海底から出て來たといはんばかりの格好だ。頭には變な帽子をかぶつて手には槍のやうなものを持つてゐる、北極への一路安全を祈つてゐる、北極への一路安全を衝き當れば如何に巨船も一瞬にして粉碎されるであらう、しかも船はその間をデッドボールを避けるやうに、危ふく身をかわしつゝ進んで行くのだ。危險極まりなし、しかも流氷は多くなる。遂に北緯(81°22)東經110°の地に至つて全く進退谷つた――停船。自分はじつと甲板に立つてゐた。冷たい甲板上に――。四周の風物眼にしみるその一つ一つ自分にとつて全くの驚異だ魂のおのゝきだ。鯨がゐる、しかも群つて浮つ沈みつ、猛烈に潮を吹きながら行進してゆく。あざらしがゐる。こいつは海のピエロだ。敏近くユウモラスなこと。

者である彼等は、文明と野蠻とを劃然と區切るところの薄暗い穴の中に犬を抱いて眠り、犬と共に生活してゐるのだ。彼等の周りには敵に對しては虎の如く獰猛な、主人に對しては羊の如く柔順な良犬が何匹なく群り遊んでゐる。

海鳥の大群

煙火で追拂ふ

八月一日ハムメルフエスト着北緯70°40の地點にある世界最北端の都市、こゝを出て航行暫時、バード・ロックに出る。そゝり立つ岩山は頂上といはず麓といはず幾千とも數知れぬ海鳥の群で地肌も見ゐない位、よくもこんなに集つたものだと、つく〳〵見入つて居ると、一發轟然たる響き、群がる鳥を追つ拂つて見せるために煙火を打上たのだそうだが、群鳥のその爆音に驚いてひらひらパッと飛び立つ壯觀は實に何ともいへない。岩肌は彼等の糞でまつ白だ。幸ひ天候が好いので目的地のスピッツベルゲンは歸路に立寄るとして、急に豫定を變更、一路北極の玄關まで――流ひやうのために船の行かれなくなる地點まで大膽に北行することになつた。二日間は無爲の船中生活

浮氷見ゆ

鯨と海豹の曲藝

三日ヒビッツベルゲン―北緯79°40を右に見て深夜航行を續けてゐると甲板の上から『バック・アイス〳〵』と叫ぶ聲が聞ゐる。出て見ると、何と云ふ壯觀は、驚くばかり巨きな流氷が悠らばつてゐるのみ。無論無人の茅屋だ。附近の小山へも行つて見たがそこには死人を埋沒したらしい箱が四十個あまりも並んでゐたが箱は風雪に朽ち骨も殆ど風化し去つて形骸も止めない何でも千七百三十年ごろに埋められたものとか。思ふにきよ獵のためこゝゐ遠征してきて、遂に自然の暴威に生命を奪はれ猛獸との爭鬪に傷ついて斃れたものであらう。

物凄い流氷

極地の不景氣風

午后五時クロスベイに碇泊、四方の風景を探るこの附近には流ひやうの思つたより大きいのが散らしい箱が四十個あまりも並んでゐる。自分はいゝ氣持になつてそこら中を歩き廻つた。

草花の群落

ふと見ると、何て可愛らしいんだらう。海に近い窪地のやうなところに、あか、白、茶、黃と綺麗な色をした小さな草花が點々と咲き亂れてゐる。そして白に黑の縞のある小鳥や嘴だけ眞黃色の白い鳥がしきりに飛んでゐる。同行のノルウエー人の話では何でも「モーカ」といふのらしい。時々鷲のやうに水中利だ。日本で晝間といふべき時間には晴天時なら F 4.5 シャッター三十二分ノ一、絞八位。夜間は十六分ノ一または八分ノ一だ。

夜なき國

寒暖計は丁度零度だ、寒さうでさう寒くない。山中暦日なしといふが、夏の北極は太陽沒することなく、いづれを夜いづれを晝と別つべくもない、曙もなければ日沒もない、常晝の寂光土だ。しかし太陽の位置によつて大體の時間を測定するに、午前零時は太陽北中の時であり、午前六時は東、正午は南、午后六時は西にある。しかして夜半に於て太陽は最も水平線に近く正后はその最も高く來る時だが角度からいへば三十七、八度に過ぎず、その最も水平線近くある時で大體二十二、三度位の角度を保つてゐるかのやうだ。從つて地に曳く影は斜に驚く程も長い。

依然たる流氷の群れ、遂にその上の北行を斷念してスピッツベルゲンに引返す。

熊と人の骨

四日朝、スピッツベルゲンのマグダレン・ベイに碇泊、上陸して附近を歩いて見る。岩かげに骨ばかりの小舍があるので行つて見たがこれはどうやら白熊狩りに來て休息するための小舍らしく、周りには風化した白熊の骨や魚のひぼしになつたのが散つと船まで續いてゐる。

斜に落ちる太陽の長い影はずゐてゐる。馬鹿に太陽が近いやうだ。その長い影を踏んで行くと、何の苦もなく太陽まで行かれるやうな氣がする。自分はいゝ氣持になつてそこら中を歩き廻つた。

草花の群落

ふと見ると、何て可愛らしいんだらう。海に近い窪地のやうなところに、あか、白、茶、黃と綺麗な色をした小さな草花が點々と咲き亂れてゐる。そして白に黑の縞のある小鳥や嘴だけ眞黃色の白い鳥がしきりに飛んでゐる。同行のノルウエー人の話では何でも「モーカ」といふのらしい。時々鷲のやうに水中利だ。日本で晝間といふべき時間には晴天時なら F 4.5 シャッター三十二分ノ一、絞八位。夜間は十六分ノ一または八分ノ一だ。

夜ある國へ

夜十二時、いよ〳〵歸港の途に上る。名殘りに四方の風物をスナップする。夜なき極地では終日何時でも撮影出來るから便利だ。日本で晝間といふべき時間には晴天時なら F 4.5 シャッター三十二分ノ一、絞八位。夜間は十六分ノ一または八分ノ一だ。

日蔭の讀物

眞夜中の太陽

北極見たまゝの記

遠藤健三

顚のてつぺんに近く素晴らしい北極星座を見、斜めに眞夜中の太陽を浴びつゝ氷河を前に、北緯82.23、東經2°の地點に突立つた時は、ますがに胸がふるへた。日本人として極地を極めた喜び――地球の涯を征服し得た喜び、うづくやうに、こみ上つて來た。われ今此處にあり、さうさんけんで雲はるかな母國に呼びかけたい心のときめきをすら感じたのだつた。

「北極星」號で

極北への首途

七月二十四日、私は倉皇としてパリを立つた。そしてロンドンへ、ロンドンからニユーカッスルへ、そこから北極圏遊覽千トンの巨船だ。午後五時ノルウエーのベルゲンに向つて直航した

「北極星」號、名からして北極

地通ひにふさはしい、白鳥のやうに美しく塗つたスマートな六船の一なるベルゲンスケ・スチームシップ會社（本社はノルウエー）のスチラ・ポラリス號の客となつた。

「北極星」號、名からして北極術品だ。毛皮の帽子に毛皮の上衣、不思議なことに彼等は未だに穴居生活を捨てないのである沒落する最後の民族、しかして近代機械文明に對する頑な反逆者もある。世界最北端の聖堂だミッドナイト・サン（夜半の太陽）の色にふさわしい赤い建て物、これが眞夜中の太陽の光にカッキ懷しい眞夜中の太陽ともおさらば、卽ちここから日沒があるのである。すさんだ極地の勞働街、地下の唄、聖堂の鐘、祈りの聲、私はその淋しき風ケイを心に書いた。

クジラのひぼし

六日、テンブルベイを通過してグリンハーバード着。上陸してみる。この附近は鯨の漁地でかつては大きな工場があり鯨油鯨肉の塩漬けをしたらしいが今は空屋となつてしまつて、大きなクジラがあつちこつちに放棄されたまゝ帆柱の如き骨を殘して朽ちつゝある慘憺たる光ケイが痛ましく眼につく。こゝには世界最北端の無線電信局がある記念のためなつかしい母國へ極北より最初のそして最後の一電を打つた。四音十クローネ（五圓五十錢）だ。

あゝ「NOITE」の太陽

神秘に壯嚴化された世界

あゝその日のミッド・ナイトサン（夜の太陽）、それは極地に於て見た最も美しいものであつた。

神彩奕々として焰と燃ゆる巨大な太陽、渦卷く層雲、これが夜かと不思議に思へる程の明るさだしかも度ぎつい眩しさではない何んだが夢のやうに柔かい超現實の世界に在るやうな――。

斜に落ちる太陽の長い影はずつと船まで續いてゐる。馬鹿に太陽が近いやうだ。その長い影を踏んで行くと、何の苦もなく太陽まで行かれるやうな氣がする。自分はいゝ氣持になつてそこら中を歩き廻つた。

草花の群落

ふと見ると、何て可愛らしいんだらう。海に近い窪地のやうなところに、あか、白、茶、黃と綺麗な色をした小さな草花が點々と咲き亂れてゐる。そして白に黑の縞のある小鳥や嘴だけ眞黃色の白い鳥がしきりに飛んでゐる。同行のノルウエー人の話では何でも「モーカ」といふのらしい。時々鷲のやうに水中利だ。日本で晝間といふべき時間には晴天時なら F 4.5 シャッター三十二分ノ一、絞八位。夜間は十六分ノ一または八分ノ一だ。

夜ある國へ

夜十二時、いよ〳〵歸港の途に上る。名殘りに四方の風物をスナップする。夜なき極地では終日何時でも撮影出來るから便利だ。日本で晝間といふべき時間には晴天時なら F 4.5 シャッター三十二分ノ一、絞八位。夜間は十六分ノ一または八分ノ一だ。

七日、八日船中生活。ネブチューンの御機嫌を損じたのか終日大荒れ、九日ハルスタッドに到着、やれやれと思ふと同時に懷しい眞夜中の太陽ともおさらば、卽ちここから日沒があるのである。すさんだ極地の勞働街、地下の唄、聖堂の鐘、祈りの聲、私はその淋しき風ケイを心に書いた。

クジラのひぼし

六日、テンブルベイを通過してグリンハーバード着。上陸してみる。この附近は鯨の漁地でかつては大きな工場があり鯨油鯨肉の塩漬けをしたらしいが今は空屋となつてしまつて、大きなクジラがあつちこつちに放棄されたまゝ帆柱の如き骨を殘して朽ちつゝある慘憺たる光ケイが痛ましく眼につく。こゝには世界最北端の無線電信局がある記念のためなつかしい母國へ極北より最初のそして最後の一電を打つた。四音十クローネ（五圓五十錢）だ。

Dr. H. Saito
MEDICO
醫學士
齊藤等
サンパウロ市インコンフィデンチア街六三五

廣告

眼科專門醫
加藤憲
サンパウロ市ルイスガマ街八五

Dr. k. DAIAN
MEDICO-OPERADOR
PARTEIRO
ARAÇATUBA
内科 外科 產科 婦人科
電氣治療
大庵喜八
北西線アラサツーバ大原兄弟商會裏隣

難病者の福音
神經痛 腦病 脚氣 レウマチス 貧血 病體 ヒステリー 脫臼 中風 子宮 淋病 マレ 齒痛 アーベー 腰痛 肩痛 神經衰弱等 慢性ツタ
針灸 溫灸 療法 療法 マッサージ術
川原療院
サンパウロ市九月七日街（下矢鑄工所隣）入院を許します

Y. Shimizu
Sirrusião Dntista
-Promissã
北米最新式
齒科醫
北西線プロミッソン町セルヂッペ街
清水安丸

サンパウロ市ルイスガーマ街（須賀山商店隣り）
矢部洋服店
◇御希望の方には洋服裁斷法を敎授致します◇
今度右の所に店舗を構へ格價低廉ざん新流行型仕上迅速を主とし稽々勉强善業仕候間何卒御愛顧の程奉願候也